

2024 年度

デ イ ン ク ル  
DINQL

Database for improvement of Nursing Quality and Labor

労働と看護の質向上のためのデータベース事業

データ入力の手引き

【2023 年度からの変更点について】

- 目次にて黄色でマークされたデータ項目は、2023 年度からの変更がある項目です。項目によって、定義の変更、入力項目の追加・削除、説明文のみの追加・変更など、変更内容が異なります。詳しくは、各データ項目の説明ページをご確認ください。
- 各データ項目の説明ページでは、データ項目名の下に【2024 年度変更あり】と記載しています。  
また、説明ページ内で、文字色が赤で下線が引かれた箇所が追加・変更した箇所です。
- 新たな IT システムは 8 月 1 日から運用を開始します。追加・変更された項目については、お手数ですが、システムが変更された後でご入力いただけますようお願いいたします。



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

# 労働と看護の質向上のためのデータベース（DiNQL）事業

## データ入力の手引きについて

### 1. 目的

本書では、データ項目の定義や算定式について説明しています。データ項目の定義や算定式は厚生労働省や他団体の評価指標となるべく統一するようにしていますが、本事業特有の定義や算定式もあります。データを収集し、入力する際には、本書を参考にしてください。

なお、DiNQL を活用した質評価、改善活動の取り組みについては、別途 IT システムに掲載中の学習コンテンツをご参照ください。また、IT システムへのデータ入力方法については、学習コンテンツの「使い方マニュアル」をご覧ください。

### 2. データ項目の説明ページの見方

各データ項目の説明ページでは、[カテゴリ名] [データ項目名] [入力項目] [算定式] [入力単位] [対象期間] [入力の範囲] [エラーチェック項目] [昨年度参考値] [説明] に分けて、定義やデータ収集にあたっての注意点等を記載しています。次頁以降で、どのような内容が記載されるかをご紹介します。

病院・病棟の基礎情報	
<b>4. 許可病床数・稼働病床数（必須）</b>	
入力項目	病院の許可病床数（ ）床 【病院】病院の稼働病床数（ ）床 一般病床（ ）床 療養病床（ ）床 感染症病床（ ）床 結核病床（ ）床 精神病床（ ）床 【病棟】病棟の稼働病床数（ ）床 一般病床（ ）床 療養病床（ ）床 感染症病床（ ）床 結核病床（ ）床 精神病床（ ）床
算定式	病院・病棟の稼働病床数を、入力された値をもとに自動計算します。 病院・病棟の稼働病床数 ＝一般病床数＋療養病床数＋感染症病床数＋結核病床数＋精神病床数
入力単位	病院・病棟
対象期間	対象月の1ヶ月間（自動コピー）
入力の範囲	許可病床数：整数、20～9,999 床 稼働病床数：整数、【病院】0～9,999 床、【病棟】0～99 床
エラーチェック項目	「病院の稼働病床数」の値は、「許可病床数」の値以下となります。 「病棟の稼働病床数」の値は、「病院の稼働病床数」の値以下となります。 該当病床がない場合は「0」床と入力してください。
昨年度参考値	病院の許可病床数 中央値：540 床、25 パーセンタイル：380 床、75 パーセンタイル：742 床 病院の稼働病床数 中央値：537 床、25 パーセンタイル：353 床、75 パーセンタイル：714 床 病棟の稼働病床数 中央値：44 床、25 パーセンタイル：30 床、75 パーセンタイル：49 床
説明	病院・病棟の許可病床数と稼働病床数についてお聞きしています。 <ul style="list-style-type: none"><li>許可病床数とは、医療法に基づき使用許可を受けている、病院のすべての病床数です。一般病床、療養病床、感染症病床、結核病床、精神病床のすべてを含みます。</li></ul> <b>【稼働病床数】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>許可病床数のうち、休止の手続等を行った病床以外の、稼働病床数を入力してください。</li><li>稼働病床数では、<b>病床区分に分けてすべての稼働病床数を入力してください。</b>一般病床のみで、療養病床や感染症病床などを有しない場合も、<b>該当しない病床に「0」床と入力してください。（必須項目ですので、「0」床と入力しないとエラー表示になります。）</b></li><li>障害者施設等入院基本料の病棟、ICU、CCU、ハイケアユニット、小児入院医療管理科、緩和ケア病棟等の病床は、「一般病床」として計上してください。 (病床単位で「病院・病棟の基礎情報」、「患者像・看護職の労働状況」の項目の看護職員数等を入力する際には、この項目で入力した病棟稼働病床数に対する看護職員の配置数を入力してください。)</li></ul>

図：データ項目の説明ページ例

## 1) カテゴリ名・データ項目名

本事業で扱うデータ項目は、13 のカテゴリ（全 189 項目、表 1 参照）で構成されており、各データ項目の説明ページ上部にはカテゴリ名とデータ項目名が記載されています。

**【2023 年度からの変更点】**今年度より「周術期看護の状況」カテゴリが追加されます。また、他のカテゴリでも項目の追加・削除、定義・説明の変更等がある項目があります。

全 189 項目のうち、必ず入力していただく項目（必須項目）は 10 項目のみ（表 2）です。必須項目には、データ項目名の後に（必須）と記載されています（例：2. 病院機能（必須））。

必須項目以外は、病院や病棟の課題に合わせて、入力する項目を選択できます。例えば、「褥瘡ケアへの取組み」と「転倒・転落防止の取組み」に取り組む場合は、「感染対策の取組み」や「医療安全の取組み」などのデータは未入力でも構いません（入力しない項目は、事前申請等は必要なく、未入力にするだけで構いません）。

ただし、構造・過程・結果の 3 つの視点を大切にしていますので、例えば「褥瘡ケアへの取組み」に関するベンチマーク評価を行いたい場合は、「褥瘡ケアへの取組み」のデータ項目全てを入力し、多角的な視点で評価することをお勧めします。

また、13 のカテゴリ（全 189 項目）以外の項目を病院で独自に設定し、IT システムで入力・分析することができます（3 カテゴリまで、病院単位・病棟単位それぞれ数値項目 5 項目・文字列項目 3 項目以内。院内比較のみが可能で、他病院とのベンチマーク評価はできません）。

次頁以降に課題に合わせた項目の選択例（表 3～8）を掲載します。なお、ここに示した項目は「病院分析レポート」「病棟分析レポート」で表示される項目です。入力する項目を選ぶ際の参考としてください。

表 1. 13 のカテゴリとデータ項目数

カテゴリ名	項目数	カテゴリ名	項目数
病院・病棟の基礎情報	32 項目	患者像・看護職の労働状況	28 項目
診療報酬の算定状況	38 項目	褥瘡ケアの取組み	10 項目
感染対策の取組み	8 項目	転倒・転落防止の取組み	6 項目
医療安全の取組み	8 項目	身体的拘束の状況	2 項目
入退院支援・外来の状況	14 項目	精神病床の状況	11 項目
産科病棟の状況	14 項目	小児病棟の状況	5 項目
<b>周術期看護の状況</b>	<b>13 項目</b>		

表 2. 必須項目

カテゴリ名	データ項目名
病院・病棟の基礎情報	2. 病院機能
病院・病棟の基礎情報	3. 算定している入院基本料・特定入院料等
病院・病棟の基礎情報	4. 許可病床数・稼働病床数
病院・病棟の基礎情報	8. 病棟の診療科名称
病院・病棟の基礎情報	10. 看護要員数等(実人数)
病院・病棟の基礎情報	11. 看護要員の常勤換算数(非管理職)
病院・病棟の基礎情報	13. 看護要員(管理職を含む・実人数)
患者像・看護職の労働状況	1. 在院患者延べ人数
患者像・看護職の労働状況	2. 入院実患者数
患者像・看護職の労働状況	28. 平均在院日数

表 3. 褥瘡ケアの取組みに関連するデータ項目

	カテゴリ名	データ項目名
構造	病院・病棟の基礎情報	4. 許可病床・稼働病床数(必須)
	病院・病棟の基礎情報	11. 看護要員等の常勤換算数(非管理職)(必須)
	病院・病棟の基礎情報	19. 看護職員に占める認定看護師の割合
	病院・病棟の基礎情報	23. 臨床経験年数別の看護職員の割合
	病院・病棟の基礎情報	30. <b>看護実践能力習熟段階(ラダー等)</b>
	患者像・看護職の労働状況	3. 65歳以上の年齢階層別患者の割合
	患者像・看護職の労働状況	4. 手術件数の割合
	患者像・看護職の労働状況	5. 緊急入院件数の割合
	患者像・看護職の労働状況	7. 重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合
	患者像・看護職の労働状況	9. 認知症高齢者の日常生活自立度
	患者像・看護職の労働状況	19. 看護職員の時間外労働時間(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	23. 患者1人1日あたり看護職員労働時間(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	24. 月平均1日あたり夜間配置数(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	26. 看護職員の実際の人員配置(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	27. 稼働病床の病床稼働率
	患者像・看護職の労働状況	28. 平均在院日数(病棟単位:必須)
	診療報酬の算定状況	14. 褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定割合
	身体的拘束の状況	2. 身体的拘束患者割合
	褥瘡ケアの取組み	1. 褥瘡ケアに関する総研修時間
	褥瘡ケアの取組み	5. 褥瘡に関する危険因子を有していた患者の割合
過程	褥瘡ケアの取組み	2. 褥瘡ケアに関する研修への年間延べ参加者の割合
	褥瘡ケアの取組み	3. 褥瘡対策の実施内容
	褥瘡ケアの取組み	4. 褥瘡に関する危険因子の評価実施割合
	褥瘡ケアの取組み	6. 褥瘡リスクがある患者の体圧分散用具の使用割合
	褥瘡ケアの取組み	7. 骨突出部の耐圧測定を実施した割合
結果	褥瘡ケアの取組み	8. 褥瘡推定発生率
	褥瘡ケアの取組み	9. 新規発生した褥瘡の改善率
	褥瘡ケアの取組み	10. 既に有していた褥瘡の改善率

表 4. 感染対策の取組みに関連するデータ項目

	カテゴリ名	データ項目名
構造	病院・病棟の基礎情報	4. 許可病床・稼働病床数(必須)
	病院・病棟の基礎情報	11. 看護要員等の常勤換算数(非管理職)(必須)
	病院・病棟の基礎情報	19. 看護職員に占める認定看護師の割合
	病院・病棟の基礎情報	23. 臨床経験年数別の看護職員の割合
	病院・病棟の基礎情報	30. <b>看護実践能力習熟段階(ラダー等)</b>
	患者像・看護職の労働状況	3. 65歳以上の年齢階層別患者の割合
	患者像・看護職の労働状況	4. 手術件数の割合
	患者像・看護職の労働状況	5. 緊急入院件数の割合
	患者像・看護職の労働状況	7. 重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合
	患者像・看護職の労働状況	9. 認知症高齢者の日常生活自立度
	患者像・看護職の労働状況	19. 看護職員の時間外労働時間(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	23. 患者1人1日あたり看護職員労働時間(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	24. 月平均1日あたり夜間配置数(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	26. 看護職員の実際の人員配置(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	27. 稼働病床の病床稼働率
	患者像・看護職の労働状況	28. 平均在院日数(病棟単位:必須)
	感染対策の取組み	3. 医療関連感染防止に関する総研修時間
	感染対策の取組み	5. 中心静脈カテーテル関連血流感染(CLABSI)発生率
感染対策の取組み	6. カテーテル関連の尿路感染(CAUTI)発生率	
過程	感染対策の取組み	4. 医療関連感染防止対策に関する研修への年間延べ参加者の割合
	感染対策の取組み	8. 尿道カテーテル留置率・抜去率
結果	感染対策の取組み	5. 中心静脈カテーテル関連血流感染(CLABSI)発生率
	感染対策の取組み	6. カテーテル関連の尿路感染(CAUTI)発生率

表 5. 転倒・転落防止の取組みに関連するデータ項目

	カテゴリ名	データ項目名
構造	病院・病棟の基礎情報	4. 許可病床・稼働病床数(必須)
	病院・病棟の基礎情報	11. 看護要員等の常勤換算数(非管理職)(必須)
	病院・病棟の基礎情報	23. 臨床経験年数別の看護職員の割合
	病院・病棟の基礎情報	30. <b>看護実践能力習熟段階(ラダー等)</b>
	患者像・看護職の労働状況	3. 65歳以上の年齢階層別患者の割合
	患者像・看護職の労働状況	4. 手術件数の割合
	患者像・看護職の労働状況	5. 緊急入院件数の割合
	患者像・看護職の労働状況	7. 重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合
	患者像・看護職の労働状況	9. 認知症高齢者の日常生活自立度
	患者像・看護職の労働状況	19. 看護職員の時間外労働時間(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	23. 患者1人1日あたり看護職員労働時間(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	24. 月平均1日あたり夜間配置数(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	26. 看護職員の実際の人員配置(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	27. 稼働病床の病床稼働率
	患者像・看護職の労働状況	28. 平均在院日数(病棟単位:必須)
	身体的拘束の状況	2. 身体的拘束患者割合
	転倒・転落防止の取組み	1. 転倒・転落予防ケアに関する総研修時間
	過程	転倒・転落防止の取組み
結果	転倒・転落防止の取組み	5. 入院患者の転倒・転落発生率
	転倒・転落防止の取組み	6. 入院患者の転倒・転落による負傷発生率

表 6. 医療安全の取組みに関連するデータ項目

	カテゴリ名	データ項目名
構造	病院・病棟の基礎情報	4. 許可病床・稼働病床数(必須)
	病院・病棟の基礎情報	11. 看護要員等の常勤換算数(非管理職)(必須)
	病院・病棟の基礎情報	23. 臨床経験年数別の看護職員の割合
	病院・病棟の基礎情報	30. <b>看護実践能力習熟段階(ラダー等)</b>
	患者像・看護職の労働状況	3. 65歳以上の年齢階層別患者の割合
	患者像・看護職の労働状況	4. 手術件数の割合
	患者像・看護職の労働状況	5. 緊急入院件数の割合
	患者像・看護職の労働状況	7. 重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合
	患者像・看護職の労働状況	9. 認知症高齢者の日常生活自立度
	患者像・看護職の労働状況	19. 看護職員の時間外労働時間(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	23. 患者1人1日あたり看護職員労働時間(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	24. 月平均1日あたり夜間配置数(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	26. 看護職員の実際の人員配置(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	27. 稼働病床の病床稼働率
	患者像・看護職の労働状況	28. 平均在院日数(病棟単位:必須)
	医療安全	1. 医療安全管理者養成研修修了者の割合
医療安全	2. 安全な与薬に関する総研修時間	
過程	医療安全	3. 安全な与薬に関する研修への年間延べ参加者の割合
結果	医療安全	5. 誤薬発生率
	医療安全	6. 誤薬による障害発生率
	医療安全	7. 看護職員1人あたりのインシデント・アクシデント報告件数

表 7. 身体的拘束の状況に関連するデータ項目

	カテゴリ名	データ項目名
構造	病院・病棟の基礎情報	4. 許可病床・稼働病床数(必須)
	病院・病棟の基礎情報	11. 看護要員等の常勤換算数(非管理職)(必須)
	病院・病棟の基礎情報	23. 臨床経験年数別の看護職員の割合
	病院・病棟の基礎情報	30. <b>看護実践能力習熟段階(ラダー等)</b>
	病院・病棟の基礎情報	3. 65歳以上の年齢階層別患者の割合
	患者像・看護職の労働状況	4. 手術件数の割合
	患者像・看護職の労働状況	5. 緊急入院件数の割合
	患者像・看護職の労働状況	6. 入院患者の重症度、医療・看護必要度平均値
	患者像・看護職の労働状況	7. 重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合
	患者像・看護職の労働状況	9. 認知症高齢者の日常生活自立度
	患者像・看護職の労働状況	19. 看護職員の時間外労働時間(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	23. 患者1人1日あたり看護職員労働時間(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	24. 月平均1日あたり夜間配置数(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	26. 看護職員の実際の人員配置(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	27. 稼働病床の病床稼働率
	患者像・看護職の労働状況	28. 平均在院日数(病棟単位:必須)
過程	—	—
結果	身体的拘束の状況	2. 身体的拘束患者割合
	褥瘡ケアの取組み	8. 褥瘡推定発生率
	転倒・転落防止の取組み	5. 入院患者の転倒・転落発生率

表 8. 看護職の労働状況に関連するデータ項目

	カテゴリ名	データ項目名
構造	病院・病棟の基礎情報	11. 看護要員等の常勤換算数(非管理職)(必須)
	病院・病棟の基礎情報	23. 臨床経験年数別の看護職員の割合
	病院・病棟の基礎情報	25. 新卒採用者の割合
	病院・病棟の基礎情報	26. 既卒採用者の割合
	病院・病棟の基礎情報	30. <b>看護実践能力習熟段階(ラダー等)</b>
	患者像・看護職の労働状況	3. 65歳以上の年齢階層別患者の割合
	患者像・看護職の労働状況	4. 手術件数の割合
	患者像・看護職の労働状況	5. 緊急入院件数の割合
	患者像・看護職の労働状況	7. 重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合
	患者像・看護職の労働状況	9. 認知症高齢者の日常生活自立度
	患者像・看護職の労働状況	21. 夜勤従事看護要員(非管理職)の1人あたり月平均夜勤時間数
	患者像・看護職の労働状況	23. 患者1人1日あたり看護職員労働時間(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	24. 月平均1日あたり夜間配置数(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	25. 看護要員に占める夜勤従事者割合(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	26. 看護職員の実際の人員配置(非管理職)
	患者像・看護職の労働状況	27. 稼働病床の病床稼働率
患者像・看護職の労働状況	28. 平均在院日数(病棟単位:必須)	
過程	—	—
結果	患者像・看護職の労働状況	19. 看護職員の時間外労働時間(非管理職)
	病院・病棟の基礎情報	20. 看護職員に占める認定看護管理者の割合

## 2) 入力項目

各データ項目には、「入力項目」が設定されています。データの入力方法は、次の3パターンがあります。なお、一部のデータ項目については、自動計算のみで入力が必要な場合もあります。

○	⇒	ラジオボタン	: 選択肢から1つだけ選択する入力方法 (例: ○ あり ○ なし)
□	⇒	チェックボックス	: 選択肢から複数を選択する入力方法 (例: 褥瘡対策チームメンバーの職種 □ 医師 □ 看護師 □ 管理栄養士)
( )	⇒	数値・文字入力	: 数値や文字を入力する方法 (例: ( ) 人、( ) %)

## 3) 算定式

入力項目にデータが登録されると、ITシステムにて自動的に計算され、ベンチマーク評価に利用できる項目を記載しています。この欄に記載された内容については、データ収集の必要はありませんが、ベンチマーク評価を基に質改善活動を進める際に、分母・分子にどの項目が設定されているかを把握しておくことは大切です。

算定結果がエラーになる場合には、この算定式欄に記載された分母・分子に設定された項目の数値を見直してください。

#### 4) 入力単位

データを収集する際に、病院全体の数値を収集するか、病棟ごとの数値を収集するか記載されています。入力項目の対象となるデータが病院全体であれば「病院」、1つの病棟であれば「病棟」、どちらのデータも入力する場合には「病院」「病棟」の両方が記載されています。

**なお、カテゴリ「周術期看護の状況」については、「病院」全体の数値のみを、「産科病棟の状況」「小児病棟の状況」については、「病棟」の数値のみを扱います。**

表. カテゴリ別の入力単位

カテゴリ	病院単位の入力項目	病棟単位の入力項目
病院・病棟の基礎情報	○	○
患者像・看護職の労働状況	○	○
診療報酬の算定状況	○	○
褥瘡ケアの取組み	○	○
感染対策の取組み	○	○
転倒・転落防止の取組み	○	○
医療安全の取組み	○	○
身体的拘束の状況	○	○
入退院支援・外来の状況	○	○
精神病床の状況	○	○
産科病棟の状況	—	○
小児病棟の状況	—	○
<b>周術期看護の状況</b>	<b>○</b>	<b>—</b>

○：当該入力単位でカテゴリ内に入力対象となるデータ項目がある

—：当該入力単位でカテゴリ内に入力対象となるデータ項目がない

#### 5) 対象期間

データの対象期間には、「対象月の1ヶ月間」、「対象月の1日（ついたち）」、「昨年度の1年間」の3種類があります。それぞれのデータ収集の時期については下表をご覧ください。

表. データ対象期間とデータ収集の時期

対象期間	データ収集の時期
対象月の1ヶ月間	データを入力する月には、その月のデータを収集して入力します。 「2024年度6月」の画面に入力する値は、2024年6月1日～30日の1ヶ月間の状況となります。
対象月の1日（ついたち）	データを入力する月には、その月の1日（ついたち）のデータを収集して入力します。 「2024年度6月」の画面に入力する値は、2024年6月1日の状況となります。 ※対象となるデータ項目は以下の2項目のみです。 感染対策の取組み 5. 尿道カテーテル留置率・抜去率 精神病床の状況 8. 自己管理に向けたケア
昨年度の1年間	昨年度の1年間分(前年度の4月～3月分)の状況を入力する項目です。 2024年度は、すべての月について、2023年度1年間分のデータを入力します。 (すべての月で同じ値となります)

## ＜自動コピー＞について

対象期間の欄には＜自動コピー＞と記載される項目があります。月単位の変化が稀なあるいは変化量が乏しい項目や「昨年度の1年間」の項目が該当し、過去に入力されたデータが下記の動作仕様に則り自動的に反映されます。データ項目のうち、約6割程度が自動コピー対象です。

### 【自動コピー機能の動作仕様について】

自動コピー機能は毎月1日に、前月以前に登録されたデータ（※1）をコピーして、今月のデータに反映させる機能です。反映されると、入力画面に自動的に数値が表示されます。

- ・自動コピー機能は今月のデータにのみ動作し、前月以前にさかのぼって反映することはありません。
- ・手動でも前月以前に登録されたデータを反映させる機能があります。  
詳しくは「使い方マニュアル（データ入力編）」の[前回登録データ]機能をご覧ください。

#### ※1 前月以前に登録されたデータ…

直近の6ヵ月間にデータのステータス（※2）が確定済となったデータのうち、今月にもっとも近い月のデータが反映されます。

なお、年度の区切りに関わらず、もっとも近い月のデータを反映します。

表. 自動コピー対象月の考え方

	7月	8月	9月	10月データへの反映（10月1日時点）
例）	確定済	未入力	下書き	8月、9月のデータは未入力・下書きであるため、直近の月として7月分のデータが10月に反映されます。

#### ※2 データのステータス…

DiNQLのデータは、未入力・下書き・確定済の3つのステータスで管理されます。

詳しくは「使い方マニュアル（データ入力編）」の[データのステータスについて]をご覧ください。

## 6) 入力頻度

全てのデータ項目には値を毎月入力することができますが、データ項目の性質により、「毎月または定期的に入力が必要」な項目と、「年1回の入力で良い」項目とがあります。

前項5)の対象期間の欄に＜自動コピー＞と記載されていない項目は、「毎月または定期的に入力が必要」な項目です。新しくデータを収集する都度、その対象期間の値を入力してください。

一方、対象期間の欄の右側に＜自動コピー＞と記載されている項目は、「年1回の入力で良い」項目です。具体的には、月単位の変化が稀あるいは変化量が乏しい項目や、「昨年度の1年間」の項目が該当します。これらの項目では、例えば病棟再編等の事情により値が大きく変化した場合を除き、当該年度の初回入力月にデータを入力した後、翌月以降にその月のデータを収集して入力する必要はありません。

## 7) 入力の範囲

数値を入力する項目では、入力できる数値の範囲や、整数で入力するのか、小数点以下まで入力するのかといった情報が記載されています。（小数点での入力では、第何位まで入力と指定されています）

※データ入力画面では、指定された入力の範囲を外れた数値や、整数・小数点の違い、小数

点の桁数が異なると、入力エラーとなり、数値が登録できませんのでご注意ください。

※入力の範囲を外れた値を登録しようとする、エラー画面に次の内容が表示されます。入力の範囲を外れた場合、データが登録できませんので、その場で修正するか、空欄にしてから再度登録してください。

エラー画面に表示される内容
数値の桁や入力文字に誤りがあるため登録できません。※他の項目も登録できないため、正しい数値が不明である場合は、この項目のみ空欄にしてから再度登録してください。
値が設定範囲から外れています。入力した数値、もしくは計算に利用される項目の数値を見直してください。

## 8) エラーチェック項目

データ項目では、ベンチマーク評価の精度を高めるために、他項目の数値との大小比較をしている項目もあります。例えば、「病棟の病床数は、病院の病床数を超えない」といった比較をしています。データ入力画面で『確定済』ボタンを押した際に大小比較を実施します。（『下書き』では動作しません）

大小比較の結果、エラーとなった場合には、エラー画面に表示されたエラー内容・関連項目（または本書の「エラーチェック項目」）をご確認ください。なお、エラーチェックに設定された項目が「未入力」もしくは「下書き」であるとエラーとなります。この場合、エラーチェック項目の設定された項目が登録されると、自動的にエラーが解消されます。ただし、データが登録されても、大小比較でエラーとなる場合には、引き続きエラーが表示されます。

## 9) 昨年度参考値

データを収集・入力する際の参考情報として、昨年度 10 月に入力されたデータを掲載しています。掲載内容は、構成比（ラジオボタンの項目）、チェックされた割合（チェックボックスの項目）、中央値（一部項目では 25 パーセンタイル値・75 パーセンタイル値も）（数値の項目）です。全病院、全病棟を対象として集計しています。データを収集する際の参考数値としてご利用ください。

## 10) 説明

入力項目の定義や計算方法の留意点が記載されています。説明を十分にお読みください。

本書の巻末資料として看護要員の人数に関するチェック表をご用意しています。  
ぜひご参照ください。  
**巻末資料「看護要員の人数に関するデータ入力チェック表」**

### 3. データの入力期間

データの入力期間は4月～翌3月です。データ入力、その月の1日より入力できます（例えば、4月分のデータは4月1日から入力できます）。また、毎月のデータ入力には締め切りを設けています。締め切りは「対象月の2ヶ月後（翌々月末締め切り）」です。例えば、可能な限り入力をお願いしている10月のデータは12月31日（翌々月末）までが入力期間となります。

表. データの入力期間

月	データ入力期間	月	データ入力期間
4月分	4月1日～6月30日	10月分	10月1日～12月31日
5月分	5月1日～7月31日	11月分	11月1日～1月31日
6月分	6月1日～8月31日	12月分	12月1日～2月28日
7月分	7月1日～9月30日	1月分	1月1日～3月31日
8月分	8月1日～10月31日	2月分	2月1日～4月30日
9月分	9月1日～11月30日	3月分	3月1日～5月31日

#### データ入力の締め切りを過ぎた場合

##### ①データの入力・修正について

締め切りを過ぎた後でもデータの入力・修正は可能です。  
間に合わなかった場合や、修正が必要な場合には、締め切り後でも入力をお願いします。

##### ②ベンチマーク結果への反映について

###### i. レーダーチャート等のベンチマーク、かんたんダッシュボード

入力・修正したデータは即時反映されます。

###### ii. 病院間ベンチマーク評価レポート、病院分析レポート、病棟分析レポート

これらのレポートは、入力締め切り後、約1～2週間後に抽出したデータを基に作成します。そのため、締め切り後に入力・修正されたデータが反映されない場合があります。

#### 自病院におけるデータの入力時期の選択について

入力の時期は、例えば下表のように自由に選択できます。ただし、ベンチマーク評価対象件数を最大化するために、「10月」のデータは可能な限り、入力をお願いします。

データに基づいた質改善活動では、自分たちの取り組みによる成果を経時的に確認することも大切ですので、毎月の入力、もしくは四半期に1度程度の入力をお勧めしています。

表. データを入力する対象月の選択例（◎:10月データは入力）

	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
例1)四半期に1度入力			○		○		◎			○		
例2)毎月入力	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○
例3)年1回入力							◎					

# 目次

病院・病棟の 基礎情報.....	1
1. 設置主体.....	2
2. 病院機能（必須）.....	3
3. 算定している入院基本料・特定入院料等（必須）.....	5
4. 許可病床数・稼働病床数（必須）.....	8
5. 看護職の副院長職.....	9
6. 看護支援システムの導入状況.....	9
7. 職務満足度調査・患者満足度調査.....	10
8. 病棟の診療科名称（必須）.....	11
9. 医療職者等の常勤換算数（管理職を含む）.....	13
10. 看護要員（実人数）（必須）.....	15
11. 看護要員の常勤換算数（非管理職）（必須）.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
12. 看護職員（非管理職・実人数）.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
13. 看護要員（管理職を含む・実人数）（必須）.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
14. 雇用形態別の看護職員の割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
15. 看護職員に占める看護師割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
16. 看護職員に占める男性看護職員の割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
17. 看護職員の教育背景.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
18. 看護職員に占める専門看護師の割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
19. 看護職員に占める認定看護師の割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
20. 看護職員に占める認定看護管理者の割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
21. 看護職員の平均年齢.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
22. 年齢分布別看護職員の割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
23. 臨床経験年数別の看護職員の割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
24. 勤続年数別の看護職員の割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
25. 新卒採用者の割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
26. 既卒採用者の割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
27. 看護要員離職率.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
28. 看護職員に占める休職者割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
29. 看護補助者への研修.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
30. 看護実践能力習熟段階（ラダー等）.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
31. 看護職員 1 人あたりの年間研修費（実費）.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
32. 痛みのスクリーニング.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
患者像・ 看護職の労働状況.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
1. 在院患者延べ人数（必須）.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
2. 入院実患者数（必須）.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
3. 65 歳以上の年齢階層別患者の割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
4. 手術件数の割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
5. 緊急入院件数の割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6. 入院患者の重症度、医療・看護必要度平均値.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
7. 重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。

8. 医療区分・ADL 区分（療養病棟） ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
9. 認知症高齢者の日常生活自立度 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
10. 入室時の生理学的スコアと専門看護師、認定看護師配置（特定集中治療室）エラー! ブックマークが定義されていません。
11. 週休形態 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
12. 週あたりの所定労働時間数 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
13. 年間休日総数 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
14. 平均年次有給休暇取得率 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
15. 院内保育所の設置・夜間保育の実施 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
16. 夜勤負担軽減のための配慮 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
17. 勤務形態別の夜勤配置看護職員数 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
18. 看護要員の月間総勤務時間数（非管理職） ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
19. 看護職員の時間外労働時間（非管理職） ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
20. 夜勤従事看護要員（非管理職）の月間総夜勤時間数エラー! ブックマークが定義されていません。
21. 夜勤従事看護要員（非管理職）の1人あたり月平均夜勤時間数エラー! ブックマークが定義されていません。
22. 月平均1日あたり看護配置数（非管理職） ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
23. 患者1人1日あたり看護職員労働時間（非管理職）エラー! ブックマークが定義されていません。
24. 月平均1日あたり夜間配置数（非管理職） ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
25. 看護要員に占める夜勤従事者割合（非管理職） ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
26. 看護職員の実際の人員配置（非管理職） ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
27. 稼働病床の病床稼働率 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
28. 平均在院日数（病棟単位：必須） ..... エラー! ブックマークが定義されていません。

診療報酬の 算定状況 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 救急・在宅等支援病床初期加算等 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
2. 在宅復帰機能強化加算（療養病棟） ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
3. 総合入院体制加算・急性期充実体制加算・精神科充実体制加算エラー! ブックマークが定義されていません。
4. 急性期看護補助体制加算・夜間急性期看護補助体制加算エラー! ブックマークが定義されていません。
5. 看護職員夜間配置加算 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
6. 看護補助加算 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
7. 夜間看護加算（療養病棟） ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
8. 看護補助体制加算等（地域包括医療病棟） ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
9. 緩和ケア診療加算 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
10. 精神科リエゾンチーム加算 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
11. 栄養サポートチーム加算 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
12. 医療安全対策加算 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
13. 感染対策向上加算 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
14. 患者サポート体制充実加算 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
15. 褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定割合 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
16. 呼吸ケアチーム加算の算定割合 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
17. 術後疼痛管理チーム加算 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
18. 摂食嚥下機能回復体制加算（摂食機能療法）の算定割合エラー! ブックマークが定義されていません。

19. 病棟薬剤業務実施加算.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
20. 入退院支援加算 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
21. 認知症ケア加算 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
22. せん妄ハイリスク患者ケア加算の算定割合 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
23. 排尿自立支援加算.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
24. 重症患者対応体制強化加算 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
25. 特定集中治療室遠隔支援加算.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
26. 養育支援体制加算.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
27. 外来に関する診療報酬.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
28. がん患者指導管理料 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
29. 救急外来の診療報酬 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
30. リンパ浮腫指導管理料.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
31. リンパ浮腫複合的治療料.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
32. 退院時共同指導料2・精神科退院時共同指導料2 ...	エラー! ブックマークが定義されていません。
33. 退院前訪問指導料.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
34. 退院後訪問指導料.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
35. 在宅患者訪問看護・指導料 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
36. 在宅患者訪問褥瘡管理指導料.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
37. 精神科専門療法料等 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
36. 周術期等専門的口腔衛生処置.....	エラー! ブックマークが定義されていません。

褥瘡ケアの取組み.....エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 褥瘡ケアに関する総研修時間.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
2. 褥瘡ケアに関する研修への年間延べ参加者の割合 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
3. 褥瘡対策の実施内容 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
4. 褥瘡に関する危険因子の評価の実施割合.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
5. 褥瘡に関する危険因子を有する、あるいは既に褥瘡を 有していた患者の割合	エラー! ブックマークが定義されていません。
<b>が定義されていません。</b>	
6. 褥瘡リスクがある患者の体圧分散用具の使用割合 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
7. 骨突出部の体圧測定を実施した割合 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
8. 褥瘡推定発生率 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
9. 新規発生した褥瘡の改善率 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
10. 既に有していた褥瘡の改善率.....	エラー! ブックマークが定義されていません。

感染対策の取組み.....エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 医療関連感染対策サーベイランス事業への参加.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
2. 感染防止マニュアルの周知徹底・感染防止対策のモニタリング	エラー! ブックマークが定義されて
<b>いません。</b>	
3. 医療関連感染防止に関する総研修時間 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
4. 医療関連感染防止対策に関する研修への年間延べ参加者の割合	エラー! ブックマークが定義されて
<b>いません。</b>	
5. 中心静脈カテーテル関連血流感染（CLABSI）発生率	エラー! ブックマークが定義されていません。
6. カテーテル関連の尿路感染（CAUTI）発生率 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
7. 人工呼吸器関連の肺炎（VAP）発生率 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
8. 尿道カテーテル留置率・抜去率 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。

転倒・転落防止 の取組み.....エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 転倒・転落予防ケアに関する総研修時間..... エラー! ブックマークが定義されていません。
2. 転倒・転落予防ケアに関する研修への年間延べ参加者の割合エラー! ブックマークが定義されていません。
3. 転倒・転落防止のための備品..... エラー! ブックマークが定義されていません。
4. 転倒・転落に関する患者・家族教育..... エラー! ブックマークが定義されていません。
5. 入院患者の転倒・転落発生率..... エラー! ブックマークが定義されていません。
6. 入院患者の転倒・転落による負傷発生率..... エラー! ブックマークが定義されていません。

医療安全の取組み.....エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 医療安全管理者養成研修修了者の割合 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
2. 安全な与薬に関する総研修時間..... エラー! ブックマークが定義されていません。
3. 安全な与薬に関する研修への年間延べ参加者の割合 .エラー! ブックマークが定義されていません。
4. 安全な与薬に関する患者・家族教育..... エラー! ブックマークが定義されていません。
5. 誤薬発生率..... エラー! ブックマークが定義されていません。
6. 誤薬による障害発生率..... エラー! ブックマークが定義されていません。
7. 看護職員 1 人あたりのインシデント・アクシデント報告件数エラー! ブックマークが定義されていません。
8. 暴力対策 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。

身体的拘束の状況.....エラー! ブックマークが定義されていません。

1. せん妄・認知症のスクリーニング ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
2. 身体的拘束患者割合 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。

入退院支援・ 外来の状況 .....エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 設置している看護外来..... エラー! ブックマークが定義されていません。
2. 一般外来の看護体制 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
3. 一般外来における看護..... エラー! ブックマークが定義されていません。
4. 一般外来の 1 日平均患者数（年間・月間） ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
5. 一般外来の看護要員数（実人数） ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
6. 一般外来の看護要員の常勤換算数（非管理職） ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
7. 一般外来への専門看護師、認定看護師の配置 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
8. 救急外来の 1 日平均患者数（年間・月間） ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
9. 救急外来の看護職員数..... エラー! ブックマークが定義されていません。
10. 入退院支援部門の設置..... エラー! ブックマークが定義されていません。
11. 多職種での退院ケアカンファレンスの実施割合 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
12. 多職種チームによる早期離床・リハビリテーションエラー! ブックマークが定義されていません。
13. ADL の変化 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
14. 他施設への転院率と居宅復帰率、死亡率..... エラー! ブックマークが定義されていません。

精神病床の状況.....エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 精神病床の病棟構造 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
2. 精神病床の職員配置（非管理職・実人数） ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
3. 患者の入院時の状況 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
4. 患者の身体合併症、重症度、在院日数別患者割合 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
5. 精神症状のアセスメント..... エラー! ブックマークが定義されていません。
6. 多職種でのケアカンファレンスの実施割合 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。

7. 自己管理に向けたケア .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
8. 行動制限 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
9. 退院前訪問看護 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
10. 退院率・再入院率 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
11. 退院支援におけるクライシスプランの活用 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。

産科病棟の状況.....エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 稼働病床数、在院患者延べ人数 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
2. 看護要員の配置状況（非管理職） .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
3. 助産師に占めるアドバンス助産師の割合 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
4. 妊産褥婦の情報 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
5. 新生児数 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6. 分娩件数と分娩状況 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
7. 集団指導における出産準備教育 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
8. バースプラン・バースレビューの支援 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
9. 新生児の出生状況 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
10. 母子のケア .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
11. 外来での乳房ケア .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
12. 流産・死産を経験した女性や家族へのグリーンケア .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
13. 産後ケアへの取り組み .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
14. 出産満足度 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。

小児病棟の状況.....エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 小児が入院する病棟の稼働病床数 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
2. 小児の在院患者延べ人数、平均在院日数 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
3. 小児の入院実患者数 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
4. 小児の年齢階層別患者の割合 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
5. 小児の在宅移行支援 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。

周術期看護の状況..... 17

1. 手術室の基本情報 .....	18
2. 手術件数 .....	20
3. 手術室の看護要員数（実人数） .....	22
4. 手術室の看護要員の常勤換算数（非管理職） .....	24
5. 手術看護の経験年数別の看護職員の割合 .....	26
6. 勤務形態別の手術室看護職員配置数 .....	27
7. 術前看護 .....	29
8. 皮膚・神経障害予防 .....	31
9. 体温管理 .....	33
10. 手術室における患者・手術部位の誤認防止 .....	34
11. 体内遺残防止 .....	36
12. WHO 手術安全チェックリストの使用 .....	37
13. 術後看護 .....	38

巻末資料..... 39



# 病院・病棟の 基礎情報



## 病院・病棟の基礎情報

### 1. 設置主体

入力項目	<p>※本事業に参加申し込みをする際に登録していただいた施設情報から自動的に表示されますので、入力の必要はありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国 (厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、独立行政法人地域医療機能推進機構、独立行政法人、その他)</li> <li>○ 都道府県・市町村・地方独立行政法人・公立大学法人</li> <li>○ 公的医療機関 (地方公共団体の組合、国民健康保険団体連合会、日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、厚生農業協同組合連合会、社会福祉法人北海道社会事業協会)</li> <li>○ 社会保険関係団体 (健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)</li> <li>○ 医療法人</li> <li>○ 個人</li> <li>○ 学校法人(私立大学)</li> <li>○ 公益社団法人、公益財団法人</li> <li>○ その他(社会福祉法人、医療生活協同組合、会社、その他の法人)</li> </ul>
算定式	—

入力単位	(病院) 入力なし					
対象期間	対象月の1ヶ月間					
入力の範囲	—					
エラーチェック項目	—					
昨年度参考値 (構成比)	国	9.4%	都道府県・市町村等	31.3%	公的医療機関	18.6%
	社会保険関係団体	2.2%	医療法人	19.1%	個人	0.0%
	学校法人	6.5%	公益社団法人等	4.0%	その他	8.9%

説明

病院の設置主体についてお聞きしています。

病院・病棟の基礎情報

2. 病院機能（必須）

【2024年度変更あり】

入力項目	病院機能 <input type="radio"/> 特定機能病院 <input type="radio"/> 地域医療支援病院 <input type="radio"/> 一般病院 <input type="checkbox"/> 救急医療体制 <input type="radio"/> 三次救急医療施設認定 <input type="radio"/> 二次救急医療施設認定 <input type="radio"/> 救急告示病院 <input type="radio"/> その他 <input type="checkbox"/> がん診療連携拠点病院 <input type="checkbox"/> DPC（診断群分類別包括評価）対象病院 <input type="radio"/> 大学病院本院群（旧Ⅰ群） <input type="radio"/> DPC特定病院群（旧Ⅱ群） <input type="radio"/> DPC標準病院群（旧Ⅲ群） <input type="checkbox"/> <b>紹介受診重点医療機関</b> <input type="checkbox"/> 在宅療養支援機能 <input type="radio"/> 在宅療養支援病院 <input type="radio"/> 在宅療養後方支援病院 <input type="checkbox"/> 周産期母子医療センター <input type="radio"/> 総合周産期母子医療センター <input type="radio"/> 地域周産期母子医療センター <input type="checkbox"/> 精神科の救急医療体制 <input type="radio"/> 常時対応型施設 <input type="radio"/> 病院群輪番型施設 <input type="radio"/> 身体合併症対応型施設 <input type="checkbox"/> 小児の医療体制 <input type="checkbox"/> 小児中核病院 <input type="checkbox"/> 小児地域医療センター <input type="checkbox"/> 小児地域支援病院 <input type="checkbox"/> 訪問看護体制 <input type="checkbox"/> 病院併設訪問看護ステーションがある <input type="checkbox"/> 訪問看護を担う部署がある <input type="checkbox"/> 病棟や外来から訪問看護を実施
算定式	—

入力単位	病院
対象期間	対象月の1ヶ月間（自動コピー）
入力の範囲	—
エラーチェック項目	—
昨年度参考値 （構成比/ チェックされた 割合）	<b>【病院機能】</b> 特定機能病院 10.0%    地域医療支援病院 42.5%    一般病院 47.5% <b>【救急医療体制：67.2%】</b> （内訳） 三次救急医療施設 34.8%    救急告示病院 16.3% 二次救急医療施設 47.8%    その他 1.1% <b>【がん診療連携拠点病院：34.6%】</b> <b>【DPC対象病院：69.2%】</b> （内訳） 大学病院本院群(旧Ⅰ群) 10.1%    DPC特定病院群(旧Ⅱ群) 29.1% DPC標準病院群(旧Ⅲ群) 60.8% <b>【在宅療養支援機能：18.2%】</b> （内訳） 在宅療養支援病院 34.2%    在宅療養後方支援病院 65.8% <b>【周産期母子医療センター：27.9%】</b> （内訳） 総合周産期母子医療センター 30.4%    地域周産期母子医療センター 69.6% <b>【精神科の救急医療体制：13.2%】</b>

(内訳) 常時対応型 22.6% 病院輪番型 43.4% 身体合併症型対応 34.0%  
**【小児の医療体制:19.9%】**  
 小児中核病院 32.5% 小児地域医療センター 23.8% 小児地域支援病院 13.8%  
**【訪問看護体制:31.3%】**  
 病院併設訪問看護ステーションがある 59.5% 訪問看護を担う部署がある 31.7%  
 病棟や外来から訪問看護を実施 24.6%

**説明** 病院機能についてお聞きしています。

**【病院機能】**

- ・ 「特定機能病院」「地域医療支援病院」以外の病院は、「一般病院」を選択してください。

**【DPC 対象病院】**

- ・ DPC 対象病院は、「DPC(診断群分類別包括評価)対象病院」をチェックしたうえで、「大学病院本院群(旧Ⅰ群)」「DPC 特定病院群(旧Ⅱ群)」「DPC 標準病院群(旧Ⅲ群)」のいずれかを選択してください。

**【紹介受診重点医療機関】**

- ・ 各都道府県において「紹介受診重点医療機関」と公表されている病院はチェックしてください。

**【在宅療養支援機能】**

- ・ 在宅療養支援機能を有する病院は、「在宅療養支援機能」をチェックしたうえで、「在宅療養支援病院」「在宅療養後方支援病院」のいずれかを選択してください。

**【周産期母子医療センター】**

- ・ 周産期母子医療センターは、「周産期母子医療センター」をチェックしたうえで、「総合周産期母子医療センター」「地域周産期母子医療センター」のいずれかを選択してください。

**【精神科の救急医療体制】**

- ・ 精神科の救急医療体制を有する病院は「精神科の救急医療体制」をチェックしたうえで、「常時対応型施設」「病院群輪番型施設」「身体合併症対応型施設」のいずれかを選択してください。

**【小児の医療体制】**

- ・ 小児医療を実施している病院は、「小児の医療体制」にチェックしたうえで、「小児中核病院」「小児地域医療センター」「小児地域支援病院」のうち、該当するものすべてを選択してください。いずれにも該当しない病院は、「小児の医療体制」のみにチェックをつけてください。
- ・ 「小児中核病院」とは、「三次医療圏において中核的な小児医療を実施する」病院です。日本小児科学会の「中核病院小児科」に相当します。
- ・ 「小児地域医療センター」とは、「小児医療圏において中心的に小児医療を実施する」病院です。日本小児科学会の「地域小児科センター」に相当します。
- ・ 「小児地域支援病院」とは、「小児中核病院又は小児地域医療センターがない医療圏において最大の病院小児科であり、小児中核病院又は小児地域医療センターからアクセス不良であるもの」です。日本小児科学会の「地域振興小児科病院 A」に相当します。

**【訪問看護体制】**

- ・ 訪問看護体制を有する病院は、「訪問看護体制」にチェックしたうえで、「病院併設訪問看護ステーションがある」「訪問看護を担う部署がある」「病棟や外来から訪問看護を実施」のうち、該当するものすべてを選択してください。
- ・ 「病院併設訪問看護ステーション」とは、介護保険法に基づき「指定居宅サービス事業者」の指定を受けている訪問看護ステーションが対象です。「訪問看護ステーションが当該保険医療機関と同一の敷地内にあること」とします。
- ・ 「訪問看護を担う部署」とは、介護保険法に基づく「指定居宅サービス事業者」の指定を受けていないが、訪問看護を行っている部署を指します。例えば訪問看護室・地域支援部署等を意味します。
- ・ 「病棟や外来から訪問看護を実施」とは、訪問看護部署やステーションはないが病棟もしくは外来看護職が訪問している場合や、訪問看護部署やステーションを有しながら、病棟もしくは外来看護職も訪問する場合の双方を指します。

病院・病棟の基礎情報

3. 算定している入院基本料・特定入院料等（必須）

【2024年度変更あり】

入力項目	<p>■病棟</p> <p>【主な病床区分】</p> <p><input type="radio"/>一般病床    <input type="radio"/>療養病床    <input type="radio"/>感染症病床    <input type="radio"/>結核病床    <input type="radio"/>精神病床</p> <p>【病床機能】</p> <p><input type="radio"/>高度急性期機能    <input type="radio"/>急性期機能    <input type="radio"/>回復期機能    <input type="radio"/>慢性期機能    <input type="radio"/>該当せず</p> <p>【入院基本料と特定入院料について】</p> <p><input type="radio"/>入院基本料のみ（特定入院料の算定なし）    <input type="radio"/>特定入院料の算定のみ</p> <p><input type="radio"/>入院基本料と特定入院料の双方あり</p> <p>【入院基本料】</p> <p><input type="checkbox"/>急性期一般入院基本料</p> <p><input type="radio"/>入院料 1    <input type="radio"/>入院料 2    <input type="radio"/>入院料 3    <input type="radio"/>入院料 4</p> <p><input type="radio"/>入院料 5    <input type="radio"/>入院料 6</p> <p><input type="checkbox"/>地域一般入院基本料    <input type="radio"/>入院料 1    <input type="radio"/>入院料 2    <input type="radio"/>入院料 3</p> <p><input type="checkbox"/>療養病棟入院基本料</p> <p><input type="radio"/>入院料 1    <input type="radio"/>入院料 2</p> <p><input type="checkbox"/>特定機能病院入院基本料（<input type="checkbox"/>一般 <input type="checkbox"/>結核 <input type="checkbox"/>精神）</p> <p><input type="radio"/>07対1    <input type="radio"/>10対1    <input type="radio"/>13対1    <input type="radio"/>15対1</p> <p><input type="checkbox"/>結核病棟入院基本料</p> <p><input type="radio"/>07対1    <input type="radio"/>10対1    <input type="radio"/>13対1    <input type="radio"/>15対1    <input type="radio"/>18対1    <input type="radio"/>20対1</p> <p><input type="checkbox"/>精神病棟入院基本料</p> <p><input type="radio"/>10対1    <input type="radio"/>13対1    <input type="radio"/>15対1    <input type="radio"/>18対1    <input type="radio"/>20対1</p> <p><input type="checkbox"/>専門病院入院基本料    <input type="radio"/>07対1    <input type="radio"/>10対1    <input checked="" type="radio"/>13対1</p> <p><input type="checkbox"/>障害者施設等入院基本料    <input type="radio"/>07対1    <input type="radio"/>10対1    <input type="radio"/>13対1    <input type="radio"/>15対1</p> <p>【急性期一般入院基本料、地域一般入院基本料、療養病棟入院料2、結核病棟入院基本料、精神病棟入院基本料を届け出ている病棟で、下記の算定有無】</p> <p><input type="checkbox"/>夜勤時間特別入院基本料の算定あり</p> <p>（※月平均夜勤時間が72時間以下という基準のみを満たさなくなった場合に算定する）</p> <p>■病院・病棟【特定入院料】</p> <p><input type="checkbox"/>救命救急入院料（<input type="checkbox"/>1 <input type="checkbox"/>2 <input type="checkbox"/>3 <input type="checkbox"/>4）</p> <p><input type="checkbox"/>特定集中治療室管理料（<input type="checkbox"/>1 <input type="checkbox"/>2 <input type="checkbox"/>3 <input type="checkbox"/>4 <input checked="" type="checkbox"/>5 <input type="checkbox"/>6）</p> <p><input type="checkbox"/>ハイケアユニット入院医療管理料（<input type="checkbox"/>1 <input type="checkbox"/>2）</p> <p><input type="checkbox"/>脳卒中ケアユニット入院医療管理料    <input type="checkbox"/>小児特定集中治療室管理料</p> <p><input type="checkbox"/>新生児特定集中治療室管理料    （<input type="checkbox"/>1 <input type="checkbox"/>2）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料</p> <p><input type="checkbox"/>総合周産期特定集中治療室管理料（<input type="checkbox"/>母体・胎児 <input type="checkbox"/>新生児）</p> <p><input type="checkbox"/>新生児治療回復室入院医療管理料    <input checked="" type="checkbox"/>地域包括医療病棟入院料</p> <p><input type="checkbox"/>一類感染症患者入院医療管理料    <input type="checkbox"/>特殊疾患入院医療管理料</p> <p><input type="checkbox"/>小児入院医療管理料（<input type="checkbox"/>1 <input type="checkbox"/>2 <input type="checkbox"/>3 <input type="checkbox"/>4 <input type="checkbox"/>5）</p> <p><input type="checkbox"/>回復期リハビリテーション病棟入院料（<input type="checkbox"/>1 <input type="checkbox"/>2 <input type="checkbox"/>3 <input type="checkbox"/>4 <input type="checkbox"/>5）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>回復期リハビリテーション入院医療管理料</p> <p><input type="checkbox"/>地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料（<input type="checkbox"/>1 <input type="checkbox"/>2 <input type="checkbox"/>3 <input type="checkbox"/>4）</p> <p><input type="checkbox"/>特殊疾患病棟入院料（<input type="checkbox"/>1 <input type="checkbox"/>2）    <input type="checkbox"/>緩和ケア病棟入院料（<input type="checkbox"/>1 <input type="checkbox"/>2）</p> <p><input type="checkbox"/>精神科救急急性期医療入院料    <input type="checkbox"/>精神科急性期治療病棟入院料（<input type="checkbox"/>1 <input type="checkbox"/>2）</p> <p><input type="checkbox"/>精神科救急・合併症入院料    <input type="checkbox"/>児童・思春期精神科入院医療管理料</p> <p><input type="checkbox"/>精神療養病棟入院基本料    <input type="checkbox"/>認知症治療病棟入院料（<input type="checkbox"/>1 <input type="checkbox"/>2）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>精神科地域包括ケア病棟入院料    <input type="checkbox"/>特定一般病棟入院料（<input type="checkbox"/>1 <input type="checkbox"/>2）</p> <p><input type="checkbox"/>地域移行機能強化病棟入院料</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>特定機能病院リハビリテーション病棟入院料</p>
------	--

算定式	—																																																																																																																																																																														
入力単位	病院・病棟																																																																																																																																																																														
対象期間	対象月の1ヶ月間〈自動コピー〉																																																																																																																																																																														
入力の範囲	—																																																																																																																																																																														
エラーチェック項目	—																																																																																																																																																																														
昨年度参考値 (構成比/チェックされた数・割合)	<p>【病床区分】一般病床 94.3% 療養病床 2.6% 感染症病床 0.2% 結核病床 0.3% 精神病床 2.7%</p> <p>【病床機能】高度急性期機能 38.6% 急性期機能 51.5% 回復期機能 4.8% 慢性期機能 2.9% 該当せず 2.2%</p> <p>【入院基本料と特定入院料について】 入院基本料のみ(特定入院料の算定なし) 68.6% 特定入院料の算定のみ 19.3% 入院基本料と特定入院料の双方あり 12.0%</p> <p>【入院基本料】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入院料名\区分</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期一般 2026 件</td> <td>92.3%</td> <td>1.4%</td> <td>0.0%</td> <td>4.5%</td> <td>1.4%</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>地域一般 30 件</td> <td>40.0%</td> <td>50.0%</td> <td>10.0%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>療養病棟 45 件</td> <td>93.3%</td> <td>6.7%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【特定機能病院入院基本料】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入院料名\区分</th> <th>7 対 1</th> <th>10 対 1</th> <th>13 対 1</th> <th>15 対 1</th> <th>18 対 1</th> <th>20 対 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定機能病院 一般 565 件</td> <td>96.3%</td> <td>1.0%</td> <td>2.7%</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>特定機能病院 結核 2 件</td> <td>100.0%</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>特定機能病院 精神 25 件</td> <td>24.0%</td> <td>20.0%</td> <td>56.0%</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>結核病棟 19 件</td> <td>84.2%</td> <td>15.8%</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>精神病棟 58 件</td> <td>—</td> <td>27.6%</td> <td>39.7%</td> <td>32.8%</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>専門病院 3 件</td> <td>0</td> <td>100.0%</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>障害者施設等 28 件</td> <td>0</td> <td>89.3%</td> <td>10.7%</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【夜勤時間特別入院基本料の算定あり】 17 件</p> <p>【特定入院料(抜粋)】※病棟(単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入院料名\区分</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救命救急入院料</td> <td>139 件</td> <td>82</td> <td>6</td> <td>32</td> <td>26</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>特定集中治療室管理料</td> <td>166 件</td> <td>63</td> <td>29</td> <td>61</td> <td>13</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ハイケアユニット入院医療管理料</td> <td>149 件</td> <td>142</td> <td>7</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>脳卒中ケアユニット入院医療管理料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>51</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小児特定集中治療室管理料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新生児特定集中治療室管理料</td> <td>56 件</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>総合周産期特定集中治療室管理料</td> <td>53 件</td> <td colspan="2">母体・胎児 33</td> <td colspan="2">新生児 24</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>新生児治療回復室入院医療管理料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>55</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一類感染症患者入院医療管理料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊疾患入院医療管理料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小児入院医療管理料</td> <td>219 件</td> <td>41</td> <td>44</td> <td>13</td> <td>94</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>回復期リハビリテーション病棟入院料</td> <td>78 件</td> <td>61</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	入院料名\区分	1	2	3	4	5	6	急性期一般 2026 件	92.3%	1.4%	0.0%	4.5%	1.4%	0.2%	地域一般 30 件	40.0%	50.0%	10.0%	—	—	—	療養病棟 45 件	93.3%	6.7%	—	—	—	—	入院料名\区分	7 対 1	10 対 1	13 対 1	15 対 1	18 対 1	20 対 1	特定機能病院 一般 565 件	96.3%	1.0%	2.7%	0	—	—	特定機能病院 結核 2 件	100.0%	0	0	0	—	—	特定機能病院 精神 25 件	24.0%	20.0%	56.0%	0	—	—	結核病棟 19 件	84.2%	15.8%	0	0	0	0	精神病棟 58 件	—	27.6%	39.7%	32.8%	0	0	専門病院 3 件	0	100.0%	0	—	—	—	障害者施設等 28 件	0	89.3%	10.7%	0	—	—	入院料名\区分	1	2	3	4	5	救命救急入院料	139 件	82	6	32	26	—	特定集中治療室管理料	166 件	63	29	61	13	—	ハイケアユニット入院医療管理料	149 件	142	7	—	—	—	脳卒中ケアユニット入院医療管理料				51			小児特定集中治療室管理料				8			新生児特定集中治療室管理料	56 件	28	28	—	—	—	総合周産期特定集中治療室管理料	53 件	母体・胎児 33		新生児 24		—	新生児治療回復室入院医療管理料				55			一類感染症患者入院医療管理料				1			特殊疾患入院医療管理料				2			小児入院医療管理料	219 件	41	44	13	94	27	回復期リハビリテーション病棟入院料	78 件	61	3	10	0	0
入院料名\区分	1	2	3	4	5	6																																																																																																																																																																									
急性期一般 2026 件	92.3%	1.4%	0.0%	4.5%	1.4%	0.2%																																																																																																																																																																									
地域一般 30 件	40.0%	50.0%	10.0%	—	—	—																																																																																																																																																																									
療養病棟 45 件	93.3%	6.7%	—	—	—	—																																																																																																																																																																									
入院料名\区分	7 対 1	10 対 1	13 対 1	15 対 1	18 対 1	20 対 1																																																																																																																																																																									
特定機能病院 一般 565 件	96.3%	1.0%	2.7%	0	—	—																																																																																																																																																																									
特定機能病院 結核 2 件	100.0%	0	0	0	—	—																																																																																																																																																																									
特定機能病院 精神 25 件	24.0%	20.0%	56.0%	0	—	—																																																																																																																																																																									
結核病棟 19 件	84.2%	15.8%	0	0	0	0																																																																																																																																																																									
精神病棟 58 件	—	27.6%	39.7%	32.8%	0	0																																																																																																																																																																									
専門病院 3 件	0	100.0%	0	—	—	—																																																																																																																																																																									
障害者施設等 28 件	0	89.3%	10.7%	0	—	—																																																																																																																																																																									
入院料名\区分	1	2	3	4	5																																																																																																																																																																										
救命救急入院料	139 件	82	6	32	26	—																																																																																																																																																																									
特定集中治療室管理料	166 件	63	29	61	13	—																																																																																																																																																																									
ハイケアユニット入院医療管理料	149 件	142	7	—	—	—																																																																																																																																																																									
脳卒中ケアユニット入院医療管理料				51																																																																																																																																																																											
小児特定集中治療室管理料				8																																																																																																																																																																											
新生児特定集中治療室管理料	56 件	28	28	—	—	—																																																																																																																																																																									
総合周産期特定集中治療室管理料	53 件	母体・胎児 33		新生児 24		—																																																																																																																																																																									
新生児治療回復室入院医療管理料				55																																																																																																																																																																											
一類感染症患者入院医療管理料				1																																																																																																																																																																											
特殊疾患入院医療管理料				2																																																																																																																																																																											
小児入院医療管理料	219 件	41	44	13	94	27																																																																																																																																																																									
回復期リハビリテーション病棟入院料	78 件	61	3	10	0	0																																																																																																																																																																									

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料	103件	42	61	0	0	-
特殊疾患病棟入院料	4件	3	1	-	-	-
緩和ケア病棟入院料	54件	38	16	-	-	-
精神科救急急性期入院医療料				6		
精神科急性期治療病棟入院料	9件	9	1			
精神科救急・合併症入院料				7		
児童・思春期精神科入院医療管理料				2		
精神療養病棟入院料				0		
認知症治療病棟入院料	2件	2	0	-	-	-
特定一般病棟入院料	0件	0	0			
地域移行機能強化病棟入院料				0		
特定機能病院リハビリテーション病棟入院料				2		

説明

「主な病床区分」、「病床機能」、「入院基本料」、「入院基本料の区分」、「特定入院料」についてお聞きしています。

【主な病床区分】

- ・ 病棟内で、もっとも病床数の多い病床区分にチェックしてください。
- ・ 病床区分は医療法上の区分を参考にしてください。そのため、障害者施設等入院基本料の病棟、特殊疾患病棟、緩和ケア病棟は、長期入院の患者が多い病棟であっても、「一般病床」としてください。

【病床機能：医療法における、病床機能報告制度での申請内容】

- ・ 病床機能報告制度の内容に即して、各病棟の病床が担う医療機能をチェックしてください。ただし、病床機能報告制度で報告した内容と変わっている場合は、「報告している機能」ではなく、「実態に即した機能」を選択してください。
- ・ 病床機能報告制度の報告対象は、一般病床・療養病床を有する病棟のみです。精神病床だけの病棟等、一般病床・療養病床を有さない病棟は「該当せず」を選択してください。
- ・ 1病棟において複数の医療機能を担っている場合は、主に担っている機能を1つ選択してください。

【入院基本料と特定入院料について】

- ・ 特定入院料の算定がない病棟は「入院基本料のみ」をチェックしてください。例えば ICU(特定集中治療室管理料)を算定している病棟は「特定入院料の算定のみ」をチェックしてください。入院基本料と特定入院料の双方を算定している病棟は「入院基本料と特定入院料の双方あり」をチェックしてください。該当する個所にチェックしたうえで、【入院基本料】【特定入院料】を選択してください。

【特定入院料】

- ・ 病院単位で特定入院料を入力する場合は、病院で算定している特定入院料のすべてをチェックしてください。
- ・ 病棟単位で入力する場合は、例えば A 病棟の際は A 病棟が算定している特定入院料を入力してください。ICUという病棟名称であっても、特定集中治療室管理料を算定していない場合は、特定集中治療室管理料にチェックしないでください。(ベンチマーク評価は、自病棟に特定集中治療室管理料をチェックしていなくても、特定集中治療室管理料を算定している病棟を対象にして比較することができます。)

## 病院・病棟の基礎情報

### 4. 許可病床数・稼働病床数（必須）

入力項目	病院の許可病床数 ( ) 床			
	【病院】病院の稼働病床数 ( ) 床			
	一般病床	( ) 床	療養病床	( ) 床
	感染症病床	( ) 床	結核病床	( ) 床
	精神病床	( ) 床		
	【病棟】病棟の稼働病床数 ( ) 床			
	一般病床	( ) 床	療養病床	( ) 床
	感染症病床	( ) 床	結核病床	( ) 床
	精神病床	( ) 床		
	算定式	病院・病棟の稼働病床数を、入力された値をもとに自動計算します。		
	<b>病院・病棟の稼働病床数</b> ＝一般病床数＋療養病床数＋感染症病床数＋結核病床数＋精神病床数			

入力単位	病院・病棟
対象期間	対象月の1ヶ月間〈自動コピー〉
入力の範囲	許可病床数:整数、20～9,999 床 稼働病床数:整数、【病院】0～9,999 床、【病棟】0～99 床
エラーチェック項目	「病院の稼働病床数」の値は、「許可病床数」の値以下となります。 「病棟の稼働病床数」の値は、「病院の稼働病床数」の値以下となります。 該当病床がない場合は「0」床と入力してください。
昨年度参考値	病院の許可病床数 中央値:358 床、25 パーセンタイル:205 床、75 パーセンタイル:532 床 病院の稼働病床数 中央値:348 床、25 パーセンタイル:199 床、75 パーセンタイル:520 床 病棟の稼働病床数 中央値:44 床、25 パーセンタイル:31 床、75 パーセンタイル:49 床

#### 説明

病院・病棟の許可病床数と稼働病床数についてお聞きしています。

- 許可病床数とは、医療法に基づき使用許可を受けている、病院のすべての病床数です。一般病床、療養病床、感染症病床、結核病床、精神病床のすべてを含みます。

#### 【稼働病床数】

- 許可病床数のうち、休止の手続等を行った病床以外の、稼働病床数を入力してください。
- 稼働病床数では、病床区分に分けてすべての稼働病床数を入力してください。一般病床のみで、療養病床や感染症病床などを有しない場合も、該当しない病床に「0」床と入力してください。（必須項目ですので、「0」床と入力しないとエラー表示になります。）
- 障害者施設等入院基本料の病棟、ICU、CCU、ハイケアユニット、小児入院医療管理料、緩和ケア病棟等の病床は、「一般病床」として計上してください。  
(病棟単位で「病院・病棟の基礎情報」、「患者像・看護職の労働状況」の項目の看護職員数等を入力する際には、この項目で入力した病棟稼働病床数に対する看護職員の配置数を入力してください。)

## 病院・病棟の基礎情報

### 5. 看護職の副院長職

入力項目	看護職の副院長が	○いる	○いない
算定式	—		

入力単位	病院		
対象期間	対象月の1ヶ月間〈自動コピー〉		
入力の範囲	—		
エラーチェック項目	—		
昨年度参考値 (構成比)	看護職の副院長が	いる 26.8%	いない 73.2%

**説明** 副院長職に看護職員が就いているかをお聞きしています。

- ・ 役職名が副院長ではなく「局長」等の場合でも、副院長の職位に相当することが明確な場合は、副院長が「いる」としてください。
- ・ 副院長職の専任か、看護部長相当職との兼任かは問いません。

## 病院・病棟の基礎情報

### 6. 看護支援システムの導入状況

入力項目	電子カルテの導入(看護記録の電子化)	○あり	○なし
	勤務計画作成システムの導入	○あり	○なし
	看護必要度管理システムの導入	○あり	○なし
算定式	—		

入力単位	病院				
対象期間	対象月の1ヶ月間〈自動コピー〉				
入力の範囲	—				
エラーチェック項目	—				
昨年度参考値 (構成比)	電子カルテの導入(看護記録の電子化)	あり	95.9%	なし	4.1%
	勤務計画作成システムの導入	あり	91.8%	なし	8.2%
	看護必要度管理システムの導入	あり	93.0%	なし	7.0%

**説明** 現在、導入されている看護支援システムの状況についてお聞きしています。

## 病院・病棟の基礎情報

### 7. 職務満足度調査・患者満足度調査

入力項目	職務満足度調査の実施	<input type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし
	患者満足度調査の実施 （「あり」の場合）対象部署	<input type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし
	<input type="checkbox"/> 外来	<input type="checkbox"/> 全病棟	<input type="checkbox"/> 一部の病棟
算定式	—		

入力単位	病院		
対象期間	昨年度の1年間〈自動コピー〉		
入力の範囲	整数		
エラーチェック項目	—		
昨年度参考値 （構成比/チェックされた数・割合）	職務満足度調査の実施	あり 82.2%	なし 17.8%
	患者満足度調査の実施	あり 91.1%	なし 8.9%
	【「あり」と回答した病院における「患者満足度調査」の実施頻度】		
	外来	253件(72.9%)	全病棟 238件(68.6%) 一部の病棟 37件(10.7%)

#### 説明

病院における、昨年度の看護職員職務満足度調査、及び患者満足度調査の実施状況についてお聞きしています。

#### 【職務満足度調査】

- ・ 病院全体での実施ではなく、看護部で実施している職務満足度調査も含まれます。ただし、複数病棟を対象に看護部が実施している場合を「あり」としてください。1つの病棟だけで、独自に職務満足度調査を実施している場合は「なし」としてください。

#### 【患者満足度調査】

- ・ 一部の病棟もしくは外来で患者満足度を実施している場合でも「あり」としてください。そのうえで、実施対象部署を選択してください。



- ・ 「チェックした診療科の中で、もっとも患者数が多い診療科名称」では、入院実患者数をもっとも多かった診療科を選択してください。
- ・ 該当する診療科がない場合は、読み替えが可能なもっとも近い診療科を選択してください。なお、読み替えが困難な場合には、内科または外科を選択してください。
- ・ 「単科病棟の場合：標榜診療科」では、単科病棟のみ、標榜している診療科を選択してください。混合病棟では、未入力にしてください。

### 【ユニットマネジメントとは】

#### ＜産科(小児)と他科の混合病棟におけるユニットマネジメント＞

- ・ 産科(小児)と他科の混合病棟は、下記の条件1と2の両方を満たしていることをもって、ユニットマネジメント「あり」とします。

条件 1. 病棟の一部を産科(小児)専用のユニットとして使用し、区域管理(ゾーニング)していること。

- ・ 産科(小児)専用のユニットに他の患者は入室させない。
- ・ ベッド数は患者の状況に応じて変動してもよい。

条件 2. 産科(小児)混合病棟に入棟基準がある。病棟により状況が違うので基準の内容そのものは問わない。

例) 感染症、及び感染症の疑いがない

例) 比較的状态が安定している(ターミナル期でない、抗がん剤を使用していない等)

例) 入院患者の性別・年齢構成を定める(女性である等)

- \* 区域管理ごとに看護職員を分けて配置していることが望ましいですが、その日の患者等の状況により、看護職員が区域を超えて担当していても、条件 1、2 を満たしていればユニットマネジメント「あり」とします。

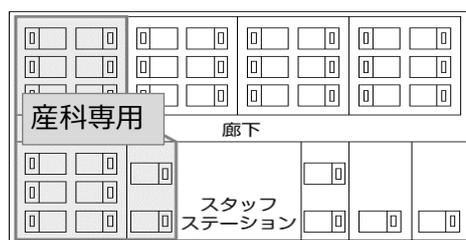
### 例示

#### 条件 1 区域管理の例

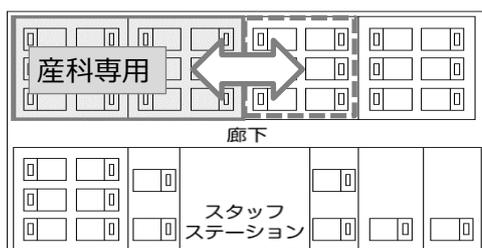
例 1) 病室をひと続きの区域にする



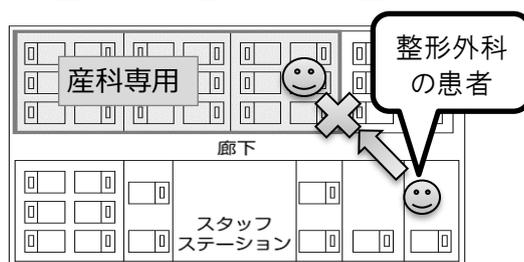
例 2) 廊下を含むひと固まりの区域にする



例 3) ベッド数は患者の状況に応じて変動してもよい



例 4) 産科区域に他科患者は入室させない



#### ＜産科(小児)以外の混合病棟におけるユニットマネジメント＞

- ・ 産科(小児)以外の混合病棟では、下記の条件 1 と 2 の両方を満たしていることをもって、ユニットマネジメント「あり」とします。

条件 1. 感染予防の観点から、区域管理(ゾーニング)を行う病床管理している。

条件 2. 入室基準がある。病棟により状況が違うので基準の内容そのものは問わない。

- \* 患者の診療科でユニット化したり、区域管理ごとに看護職員を分けて配置したりしていることが望ましいですが、その日の患者等の状況により、看護職員が区域を超えて担当していても、条件 1、2 を満たしていれば、ユニットマネジメント「あり」とします。

病院・病棟の基礎情報

9. 医療職者等の常勤換算数（管理職を含む）

入力項目	※下記の計算式に基づいて、資格別の常勤換算数を計算し、入力してください。
	医療職者等の常勤換算数
	医師（常勤換算）（ ）人 薬剤師（常勤換算）（ ）人
	精神保健福祉士（常勤換算）（ ）人
	作業療法士（常勤換算）（ ）人 理学療法士（常勤換算）（ ）人
	言語聴覚士（常勤換算）（ ）人 公認心理師（常勤換算）（ ）人
	保育士（常勤換算）（ ）人
	精神科医師数
	精神科医師（常勤換算）（ ）人
	うち、精神保健指定医（常勤換算）（ ）人
	うち、特定医師（常勤換算）（ ）人
	分娩取扱医師数
	分娩取扱医師（常勤換算）（ ）人
	夜間（午前2時時点）における1日あたりの
	分娩取扱医師（実人数）（当直制）（ ）人
	小児科医師数（常勤換算）（ ）人
	-----
	計算式
	常勤換算数 = 職員が契約している1週間あたりの労働時間 ÷ 病院が定めている1週間あたりの所定労働時間
算定式	—

入力単位	病院
対象期間	対象月の1ヶ月間〈自動コピー〉
入力の範囲	【常勤換算数を入力する項目】小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位まで入力してください、0.0～500.0人。医師数は最大1000.0人。【実人数を入力する項目】整数、0.0～50人
エラーチェック項目	—
昨年度参考値（中央値）	【医療職者等の常勤換算数】医師 74.4人、薬剤師 18.0人、精神保健福祉士 0.0人、作業療法士 7.0人、理学療法士 16.1人、言語聴覚士 3.9人、公認心理師 0.4人、保育士 0.0人 【精神科医師の常勤換算数】精神科医師 0.4人うち精神保健指定医 0.0人、特定医師 0.0人 【分娩取扱医師数】分娩取扱医師(常勤換算) 20人 夜間1日あたりの分娩取扱医師(実人数) 0/0人 【小児科医師の常勤換算数】小児科医師 3.1人

説明

病院に勤務している医療職者等の常勤換算数（管理職を含む）について、資格別にお聞きしています。

- 対象月の1ヶ月間に、病院に在籍していた資格別の医療職者等について、常勤換算数を入力してください。常勤換算は、フルタイム勤務者の所定労働時間と比較した常勤換算数を算出してください。「夜間（午前2時時点）における1日あたりの分娩取扱医師（実人数）」のみ、当直を行った1日あたりの実人数を入力してください（常勤換算ではありませんのでご注意ください）。当直とは、施設内に待機し、必要時に勤務につくことを指し、夜間のオンコール体制（緊急時対応可能な範囲に待機し、呼び出しに応じて勤務につく）は含みません。
- 病棟担当や外来担当等、院内の勤務場所・所属部署は問いません。
- 非常勤やアルバイトなど、雇用形態は問いません。
- 管理職（専ら管理に従事する者）も含まれます。休職中の職員も含まれます。

- ・ 公認心理師については、平成 30 年度以降、診療報酬上で評価される心理職の範囲を指します。

## 10. 看護要員（実人数）（必須）

入力項目	<input type="checkbox"/> 看護師（実人数） ① 正規雇用職員：フルタイム勤務正職員 （        ）人 ② 正規雇用職員：短時間勤務正職員        （        ）人 ③ 上記①②以外の職員（非常勤）        （        ）人 ④ 上記①②のうち管理職                    （        ）人 ※准看護師、看護補助者、助産師、保健師の職員数も同様に入力します。 （看護補助者については内数として介護福祉士資格保有者数も入力します）
算定式	—

入力単位	病棟																																			
対象期間	対象月の1ヶ月間（自動コピー）																																			
入力の範囲	整数、【正規雇用職員：フルタイム勤務正職員】0～99人（看護師のみ0～199人）、【正規雇用職員：短時間勤務正職員】0～20人、【非常勤】0～99人、【管理職】0～9人																																			
エラーチェック項目	「資格別の④ 上記①②のうち管理職」の値は、「正規雇用職員：フルタイム勤務正職員」と「正規雇用職員：短時間勤務正職員」を合計した値以下となります。																																			
昨年度参考値 （中央値）	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>①正規雇用職員 フルタイム勤務</th> <th>②正規雇用職員 短時間勤務正職員</th> <th>③非常勤</th> <th>④管理職</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>26人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>看護補助者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>（介護福祉士）</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>		①正規雇用職員 フルタイム勤務	②正規雇用職員 短時間勤務正職員	③非常勤	④管理職	看護師	26人	0人	0人	1人	准看護師	0人	0人	0人	0人	看護補助者	0人	0人	2人	—	（介護福祉士）	0人	0人	0人	—	助産師	0人	0人	0人	0人	保健師	0人	0人	0人	0人
	①正規雇用職員 フルタイム勤務	②正規雇用職員 短時間勤務正職員	③非常勤	④管理職																																
看護師	26人	0人	0人	1人																																
准看護師	0人	0人	0人	0人																																
看護補助者	0人	0人	2人	—																																
（介護福祉士）	0人	0人	0人	—																																
助産師	0人	0人	0人	0人																																
保健師	0人	0人	0人	0人																																

**説明** 病棟に勤務している看護要員の実人数を、資格別にお聞きしています。

- 対象月の1ヶ月間に、病棟に在籍していた資格別の看護要員について、実人数を入力してください。保持している免許の種類ではなく、実際に勤務している資格で入力してください。
- 該当の職員がない場合は「0」人と入力してください。（必須項目ですので、「0」人と入力しないとエラー表示になります。）**

### 【看護要員の雇用形態、①～④について】

- ①と②の正規雇用職員の欄には、管理職を含めた人数を入力し、④の入力欄にそのうちの管理職の人数を入力してください。
- 「管理職」とは、病棟単位で回答する場合、専ら病棟の看護管理に従事する者とし、看護師長相当職以上を想定しています。
- 「短時間勤務正職員」とは、労働契約上、「短時間勤務正職員」として契約している正規雇用職員で、1週間の所定労働時間がフルタイム勤務職員の1週間の所定労働時間に比べて短い正規雇用職員を指します。労働契約上は「フルタイム勤務」でありながら、育児・介護休業法の育児短時間等の制度を利用して、短時間勤務となっている職員は「正規雇用職員：フルタイム勤務正職員」として数えてください。

- ・ 「非常勤」とは、正規雇用ではない職員です。入院基本料(例：急性期一般入院基本料)や特定入院料を算定する際に「非常勤」として含めている職員数を入力してください。週あたりの勤務時間が短い職員であっても、ここでは「実人数」のため、「1」人と数えてください。

### 【対象者】

- ・ 病棟と外来・手術室等、「病棟」以外との兼務者についても含みます。ここでは「実人数」のため、「1」人と数えて計上してください。
  - ・ 当該病棟から他病棟へのリリーフは、「患者像・看護職の労働状況」の勤務時間数等の考え方との整合性を合わせるために、一時的な他病棟へのリリーフであれば、当該病棟での看護要員として計上してください。逆をいえば、他病棟から当該病棟への一時的なリリーフ要員については、当該病棟側では計上しません(他病棟側で計上します)。
- ・ しかし、同じ職員が1ヶ月以上、他病棟から当該病棟にリリーフで来ている場合は、リリーフ要員が勤務した当該病棟側で、「看護要員数」として計上してください。
- ・ 休職者、及び入退職者のうち、対象月の1ヶ月間の半分以上病棟に在籍していた場合で、対象月に勤務実態がある際は、人数に計上してください。

#### 例)対象期間が10月の場合:実人数の数え方

例1)10月1日の在籍人数25人、1ヶ月間の退職0人・入職0人、

10月31日の在籍人数25人 →実人数は25人

例2)10月1日の在籍人数25人、10月20日に1人退職(在籍期間は半月以上)

10月31日の在籍人数24人 →実人数は25人

例3)10月1日の在籍人数25人、10月25日に1人入職(在籍期間は半月未満)

10月31日の在籍人数26人 →実人数は25人

### 【看護補助者について】

- ・ 「基本診療科の施設基準等に係る届出書」(診療報酬)を算定する際に、様式9、9の2、9の3、9の4を用いて看護補助者として届け出ている職員は、介護職の資格を有していても「看護補助者」として計上してください。ただし、看護補助者として届けて出ている職員のうち、介護福祉士である職員は看護補助者の内訳として「介護福祉士資格保有者」に計上してください。
- ・ クラーク(看護業務作業補助)も、看護補助者として届け出ていれば、「看護補助者」として計上してください。

巻末資料「看護要員の人数に関するデータ入力チェック表」では、「資格別看護要員の实人数」に関するチェック表をご用意しています。

# 周術期看護の状況

- ◆ 「手術室」を有しない病院は、入力不要です。  
システム上、「周術期看護の状況」カテゴリの入力画面を表示しないようにできます。  
「アカウント」画面から設定してください。
- ◆ 周術期看護とは、「患者、家族が手術を決定したときから、手術室へ入室し、手術の準備から術中、手術を終えて、手術室を退室し、手術侵襲から回復するまでのプロセスに関わる看護」を指します。（日本手術看護学会作成の定義を抜粋）
- ◆ DiNQL 事業では、基本的に手術室の看護職員が提供する手術に関する周術期の状況について扱うこととします。（「8. 術前看護」を除く）

## 周術期看護の状況

### 1. 手術室の基本情報

【2024 年度変更あり】

入力項目	稼働手術室数 ( ) 室
	手術室の月間平均稼働率 (自動計算) %
	1 ヶ月間の手術室稼働実日数 ( ) 日
	1 ヶ月間の手術患者在室時間の合計 ( ) 時間/月
	手術室の看護体制
	○手術室のみで1看護単位 ○手術室と回復室で1看護単位
	○手術室と中央滅菌材料室で1看護単位
	○手術室と中央滅菌材料室と回復室で1看護単位
	○手術室と上記以外の部門で1看護単位
	( )
	手術を行う診療科
	<input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 呼吸器外科 <input type="checkbox"/> 心臓血管外科
	<input type="checkbox"/> 乳腺外科 <input type="checkbox"/> 気管食道外科 <input type="checkbox"/> 消化器外科
	<input type="checkbox"/> 泌尿器科 <input type="checkbox"/> 肛門外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科
	<input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 形成外科 <input type="checkbox"/> 皮膚科
	<input type="checkbox"/> 美容外科 <input type="checkbox"/> 眼科 <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科
	<input type="checkbox"/> 産科 <input type="checkbox"/> 婦人科 <input type="checkbox"/> 小児外科 <input type="checkbox"/> 小児歯科
	<input type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> 歯科・歯科 <input type="checkbox"/> 口腔外科
	<input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科
	<input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input type="checkbox"/> 神経内科
	<input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input type="checkbox"/> アレルギー科
	<input type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 精神科 <input type="checkbox"/> 心療内科
	<input type="checkbox"/> その他の診療科 ( )
算定式	手術室の月間平均稼働率 = $A \div (B \times C \times D) \times 100$
	A: 1 か月間の手術患者の患者在室時間の合計
	B: 1 日の手術室の定時稼働時間数 (9 時間)
	C: 1 ヶ月間の手術室稼働実日数
	D: 稼働手術室数

入力単位	病院
対象期間	対象月の1ヶ月間 (自動コピー ※手術室稼働実日数・手術患者在室時間の合計以外)
入力の範囲	整数、【稼働手術室数】0～99 室、【手術室稼働実日数】0～31 日 【手術患者の患者在室時間の合計】小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位まで入力してください。0.0～99999.9 時間、【手術室の月間平均稼働率】0.0～100.0%
エラーチェック項目	—

**説明** 手術室の基本情報についてお聞きしています。

**【稼働手術室数】**

- ・ 手術室数では、病院内の稼働している手術室の数を入力してください。なお、稼働していない手術室は除いてください。

**【手術室の月間平均稼働率】**

- ・ DiNQL 事業での手術室の月間平均稼働率は、病院が定める予定手術稼働日(例:月～金の週 5 日、月・水・土の週 3 日)の午前 8 時から午後 5 時の間に、手術室がどの程度稼働したかを把握する考え方を採用しています。
- ・ 算出方法は、「当該月の手術患者の患者在室時間の合計」を分子に、「1 日の手術室の定時稼働時間数(9 時間)×1 ヶ月間の稼働日数×稼働手術室数」を分母として、自動計算されます。

**【1 日の手術室の定時稼働時間数】**

- ・ 本項目では、1 日の手術室の定時稼働時間数を、病院が定める予定手術稼働日の 1 日あたりの手術室の定時稼働時間を午前 8 時から午後 5 時の 9 時間と仮定しています。

**【手術室の稼働実日数】**

- ・ 手術室の稼働実日数には、病院が定める予定手術稼働日の午前 8 時から午後 5 時の間で、1 ヶ月間に手術室が稼働した日数を入力してください。

**【1 ヶ月間の手術患者在室時間の合計】**

- ・ 手術患者在室時間は、病院が定める予定手術稼働日の午前 8 時から午後 5 時の間で、1 ヶ月間に実施した手術ごとに退室時刻から入室時刻を引いた差分をすべて合計した時間を指します。
- ・ 実際に手術を実施していない時間(患者入室前の準備や患者退室後の清掃、回復室での患者観察等の時間)は計上しないでください。

**【手術室の看護体制】**

- ・ 手術室単独で看護単位を設けているか、それとも他の部門と統合して1看護単位としているかについて、自病院の現状に最も近いものを選択してください。
- ・ 手術室と病棟・外来を一元管理している病院では、「手術室と上記以外の部門で1看護単位」の項目にチェックし、「一元管理している部門先」も入力してください。
- ・ 回復室には、麻酔後ケアユニット(PACU)、リカバリールームを含みます。

**【手術を行う診療科】**

- ・ 手術を行っている診療科をすべてチェックしてください。
- ・ 該当する診療科がない場合は、読み替えが可能なもっとも近い診療科を選択してください。なお、読み替えが困難な場合には、外科を選択してください。

## 周術期看護の状況

### 2. 手術件数

【2024 年度変更あり】

入力項目	<p>1 ヶ月間の手術件数 ( ) 件</p> <p>内訳) 予定手術 ( ) 件</p> <p>予定外手術 ( ) 件</p> <p>うち、夜間の手術 ( ) 件</p> <p>全身麻酔の件数 ( ) 件</p> <p>昨年度 1 年間の手術件数 ( ) 件</p>
算定式	<p>1 ヶ月間の 1 日平均手術件数 = <math>A \div B</math></p> <p>A : 1 か月間の手術件数</p> <p>B : 1 ヶ月間の手術室稼働実日数 (周術期看護の状況 1)</p> <p>予定外手術の割合 = <math>C \div A \times 100</math></p> <p>C : 1 ヶ月間の予定外手術の件数</p> <p>A : 1 ヶ月の手術件数</p> <p>夜間手術の割合 = <math>D \div A \times 100</math></p> <p>D : 1 ヶ月間の夜間手術件数</p> <p>A : 1 ヶ月の手術件数</p> <p>全身麻酔の割合 = <math>E \div A \times 100</math></p> <p>E : 1 ヶ月間の全身麻酔の件数</p> <p>A : 1 ヶ月の手術件数</p>

入力単位	病院
対象期間	1 ヶ月間の手術件数は対象月の 1 ヶ月間 昨年度 1 年間の手術件数は昨年度の 1 年間〈自動コピー〉
入力の範囲	整数、【手術件数】0~9,999 件、【予定・予定外・夜間・全身麻酔の件数】0~999 件、 【昨年度 1 年間の手術件数】99,999 件、【1 日平均手術件数】0~999 件、【予定外・夜間・全身麻酔手術の割合】0.0~100.0%
エラーチェック項目	「予定手術」「予定外手術」「夜間の手術」「全身麻酔の件数」の値は、「1 ヶ月間の手術件数」の値以下となります。
昨年度参考値	

#### 説明

手術室の看護職員が関わる手術についてお聞きしています。

- ・ カテゴリ『周術期看護の状況』における「手術」とは、診療報酬上で「手術料(医科点数表 K コード、歯科点数表 J コード)」を算定できるものであり、手術室の看護職員が関わる手術を指します。なお、手術が行われた場は問わず、手術室の看護職員が関わる手術であれば、手術室以外で実施された手術料(医科点数表 K コード)を算定できる手術も含まれます。

例) ・手術室の看護師が救急外来で行われた手術(K コード該当)に入っている場合は手術件数に含む。

・手術室の看護師が ICU で行われた ECMO 挿入(K コード該当)に入っている場合は手術件数に含む。

- ・ 予定手術とは、あらかじめ日時を決めて行われた手術とし、それ以外は「予定外」手術とします。
- ・ 夜間の手術は、午後 5 時から翌日午前 8 時までに開始した手術件数を計上してください。ただし、手術が午前 8 時から午後 5 時の間に開始し、午後 5 時以降に終了した手術(例:午前 10 時に開始し、午後 8 時に終了した手術)は含めません。
- ・ 全身麻酔の件数は、1 ヶ月間に行われた手術のうち、全身麻酔で行われた手術件数を計上してください。
- ・ 昨年度 1 年間の手術件数は、上記「手術」の定義と同様です。

## 周術期看護の状況

### 3. 手術室の看護要員数（実人数）

【2024年度変更あり】

入力項目	<p>手術室の看護師（実人数）</p> <p>①正規雇用職員：フルタイム勤務正職員 （ ）人</p> <p>②正規雇用職員：短時間勤務正職員 （ ）人</p> <p>③上記①②以外の職員（非常勤） （ ）人</p> <p>④上記①②のうち管理職 （ ）人</p> <p>※その他、准看護師、看護補助者、助産師、保健師についてもそれぞれ入力します。</p>
算定式	<p>資格別の手術室の看護要員数（管理職含む・実人数）=A+B+C</p> <p>A：正規雇用職員（フルタイム勤務正職員）</p> <p>B：正規雇用職員（短時間勤務正職員）</p> <p>C：非常勤職員</p>

入力単位	病院
対象期間	対象月の1ヶ月間〈自動コピー〉
入力の範囲	整数、【正規雇用職員：フルタイム勤務正職員】0～999人、【正規雇用職員：短時間勤務正職員】0～999人、【非常勤】0～999人、【管理職】0～9人
エラーチェック項目	「資格別の④ 上記①②のうち管理職」の値は、「①正規雇用職員：フルタイム勤務正職員」と「②正規雇用職員：短時間勤務正職員」を合計した値以下となります。
昨年度参考値	

#### 説明

一般外来の看護要員数（実人数）を、資格別にお聞きしています。

- 対象月の1ヶ月間に、手術室に勤務した資格別の看護要員について、実人数を入力してください。保持している免許の種類ではなく、実際に勤務している資格で入力してください。
- 該当の職員がいない場合は「0」人と入力してください。

#### 【看護要員の雇用形態、①～④について】

- ①と②の正規雇用職員の欄には、管理職を含めた人数を入力し、④の入力欄にそのうちの管理職の人数を入力してください。
- 「管理職」とは、手術室において専ら手術室の看護管理に従事する者とし、看護師長相当職以上を想定しています。
- 「短時間勤務正職員」とは、労働契約上、「短時間勤務正職員」として契約している正規雇用職員で、1週間の所定労働時間がフルタイム勤務職員の1週間の所定労働時間に比べて短い正規雇用職員を指します。労働契約上は「フルタイム勤務」でありながら、育児・介護休業法の育児短時間等の制度を利用して、短時間勤務となっている職員は「正規雇用職員：フルタイム勤務正職員」として数えてください。
- 「非常勤」とは、正規雇用ではない職員です。週あたりの勤務時間が短い職員であっても、ここでは「実人数」のため、「1」人と数えてください。
- 該当の職員がいない場合は「0」人と入力してください。

## 【対象者】

- ・ 手術室と病棟、一般外来等、「手術室」以外との兼務者を含みます。ここでは「実人数」のため、兼務者も「1」人と数えて計上してください。
- ・ 手術室と病棟・外来の一元管理をとっている病院では、1ヶ月間に手術室の勤務表に1回以上勤務シフトが組まれた看護要員を計上してください。勤務シフトが組まれた時点で、勤務予定が組まれていなかったリリーフ要員は含みません。
  - 例)Aさん 10月の勤務表で、15日のみ当初より手術室、それ以外は病棟での勤務を予定。
    - Aさんは10月の手術室 看護師(実人数)「1」人と数えます。
  - Bさん 10月の勤務表で、全て外来勤務予定だったが、10月15日に急遽、リリーフ要員として手術室で勤務。
    - Bさんは10月の手術室 看護師数には含みません。

(一元管理をとっている病院では、病棟・外来から手術室へ急遽、リリーフ要員を得る運用が想定されますが、その人数を後から把握するには労力を要するため、このような定義にしています。)
- ・ 休職中の看護要員は含みません。ただし、休職者のうち、対象月の1ヶ月間の半分以上、手術室に在籍していた場合で、対象月に勤務実態がある際は、人数に計上してください。月途中での入退職者についても同様に考えてください。
- ・ 手術室のクレーク(看護業務作業補助)も、手術室の「看護補助者」として計上してください。

巻末資料「看護要員の人数に関するデータ入力チェック表」では、「手術室の看護要員」に関するチェック表をご用意しています。

## 周術期看護の状況

### 4. 手術室の看護要員の常勤換算数（非管理職）

【2024 年度変更あり】

入力項目	手術室の看護師（非管理職・常勤換算）（ ）人 手術室の准看護師（非管理職・常勤換算）（ ）人 手術室の看護補助者（非管理職・常勤換算）（ ）人 手術室の助産師（非管理職・常勤換算）（ ）人 手術室の保健師（非管理職・常勤換算）（ ）人
算定式	<p>手術室の看護職員数（常勤換算数）=A+B+C+D            A：手術室の看護師数（常勤換算数）            B：手術室の准看護師数（常勤換算数）            C：手術室の助産師数（常勤換算数）            D：手術室の保健師数（常勤換算数）</p> <p>手術室 1 室あたりの手術室に在籍する看護職員数=(A+B+C+D)÷E            A+B+C+D：手術室の看護職員数（常勤換算数）            E：手術室数（周術期看護の状況 1）</p> <p>手術室看護職員 1 人 1 ヶ月あたりの手術件数=F÷(A+B+C+D)            F：1 ヶ月間の手術件数（周術期看護の状況 2）            A+B+C+D：手術室の看護職員数（常勤換算数）</p> <p>患者手術時間あたりにかける看護時間=G÷H            G：手術室看護師の勤務時間の合計            ※150 時間（一人の看護職員が 1 ヶ月に提供できる勤務時間数の目安）×当該月の手術室看護職員数（常勤換算数）            H：当該月の手術患者の患者在室時間の合計（周術期看護の状況 1）</p>

入力単位	病院
対象期間	対象月の 1 ヶ月間（自動コピー）
入力の範囲	小数点以下第 2 位を切り捨て、小数点以下第 1 位まで入力してください 【手術室の看護要員の常勤換算数】0.0～999.9 人、【手術室 1 室あたりの手術室に在籍する看護職員数】【手術室看護職員 1 人 1 ヶ月あたりの手術患者数】0.0～999.9 人、【患者手術時間あたりにかける看護時間】0.0～999.9 時間
エラーチェック項目	—
昨年度参考値	

**説明** 手術室の看護要員の常勤換算数（非管理職）を、資格別にお聞きしています。

- 対象月の 1 ヶ月間に、手術室に勤務した資格別の看護要員について、常勤換算数を入力してください。保持している免許の種類ではなく、実際に勤務している資格で入力してください。

- ・ 常勤換算数はフルタイム勤務者を 1 人とし、短時間勤務者の労働時間をフルタイム勤務者(正規雇用職員)の所定労働時間から比例計算し、フルタイム勤務者の人数に換算してください。

**例)対象期間が 10 月の場合:看護要員の常勤換算数の数え方**

10 月 1 日:フルタイム勤務者(週あたりの所定労働時間が 40 時間)が 24 人在籍

10 月 1 日:短時間勤務者(週あたりの労働時間が 24 時間)が 2 人在籍

1 ヶ月間の常勤換算数は、 $24 \text{ 人} + (24 \text{ 時間} \div 40 \text{ 時間}) \times 2 \text{ 人} = 25.2 \text{ 人}$

- ・ 労働契約上はフルタイム勤務の正規雇用職員が、育児・介護休業法の育児短時間等の制度を利用して、短時間勤務となっているときは、例えば 0.8 人のように、実際の労働時間で常勤換算した値をご入力ください(「周術期看護の状況 3(実人数)」とは取り扱いが異なりますのでご注意ください)。
- ・ 資格毎の所定労働時間に応じて常勤換算をします。例えば、看護師と看護補助者で所定労働時間が異なる場合の看護補助者の常勤換算は、看護補助者の所定労働時間を基準として算出してください。看護補助者に所定労働時間がない場合は、もっとも労働時間が長い職員を基準として算出してください。
- ・ 該当の職員がない場合は「0」人と入力してください。

**【対象者】**

- ・ 管理職(専ら看護管理に従事する者)は含みません。
- ・ 正規雇用職員だけでなく、非常勤職員も含めて、常勤換算数を入力してください。
- ・ 手術室と病棟、一般外来、救急外来等、「手術室」以外との兼務者を含みます。ここでは「常勤換算数」のため、手術室での勤務時間とその他の勤務時間の区別が明確につく場合は、所定労働時間から手術室での勤務時間を計算して、手術室勤務のみの常勤換算数(例:0.7 人)を入力してください。難しい場合は「1」人と数えて計上してください。
- ・ 手術室と病棟・外来の一元管理をとっている病院では、1 ヶ月間に手術室の勤務表に 1 回以上勤務シフトが組まれた看護要員を計上してください。勤務シフトが組まれた時点で、勤務予定が組まれていなかったリリーフ要員は含みません。
- ・ 休職中の看護要員は含みません。ただし、休職者のうち、対象月の 1 ヶ月間の半分以上、手術室に在籍していた場合で、対象月に勤務実態がある際は、人数に計上してください。月途中での入退職者についても同様に考えてください。
- ・ 手術室のクラーク(看護業務作業補助)も、手術室の「看護補助者」として計上してください。

**【患者手術時間あたりにかける看護時間】**

- ・ 手術を受ける患者一人の手術室在室時間あたりの、看護師が関わる時間をお聞きしています。
- ・ 看護時間とは一人の患者の手術室在室 1 時間に対し、看護師が関わる延べ時間を指します。

巻末資料「看護要員の人数に関するデータ入力チェック表」では、「手術室の看護要員の常勤換算数(非管理職)」に関するチェック表をご用意しています。

## 周術期看護の状況

### 5. 手術看護の経験年数別の看護職員の割合

【2024 年度変更あり】

入力項目	1 年未満 ( ) 人	1 年以上 3 年未満 ( ) 人
	3 年以上 5 年未満 ( ) 人	5 年以上 10 年未満 ( ) 人
	10 年以上 15 年未満 ( ) 人	15 年以上 20 年未満 ( ) 人
	20 年以上 25 年未満 ( ) 人	25 年以上 ( ) 人
	不明 ( ) 人	
算定式	<p>手術看護の経験年数別・経験年数 3 年未満・経験年数 10 年以上の看護職員割合を、入力された値をもとに自動計算します。</p> <p>手術看護の経験年数別の看護職員割合 = <math>A \div B \times 100</math></p> <p>手術看護の経験年数 3 年未満の看護職員割合 = <math>A \div B \times 100</math></p> <p>手術看護の経験年数 10 年以上の看護職員割合 = <math>A \div B \times 100</math></p> <p>A：手術看護の経験年数別の看護職員数 [管理職を含む・実人数]</p> <p>B：手術室の看護職員数 [管理職を含む・実人数] (周術期看護の状況 3)</p>	

入力単位	病院
対象期間	対象月の 1 ヶ月間 (自動コピー)
入力の範囲	整数、【手術看護の経験年数別の看護職員数】0～99 人、【手術看護の経験年数別の看護職員割合】0.0～100.0%
エラーチェック項目	「手術看護の経験年数階層別の看護職員数」の値は、「手術室の看護職員合計(周術期看護の状況 3)」の値以下となります。
昨年度参考値	

#### 説明

手術室に勤務している看護職員の手術看護での経験年数別の実人数をお聞きしています。

#### 【対象者】

- ・ 管理職(専ら病棟の看護管理に従事する者)も含まれます。
- ・ 正規雇用職員だけでなく、非常勤職員も含まれます。

#### 【臨床経験年数の数え方】

- ・ 手術看護の経験年数は、貴病院への転職前の経験も含まれます。
- ・ 准看護師を経て看護師として勤務している職員は、准看護師での手術看護の経験も含まれます。
- ・ 短時間勤務や非常勤職員としての手術看護の経験も計上してください。
- ・ 一般病棟や外来等との兼務者について、手術看護の経験年数の把握が難しい場合は、「不明」に計上してください。
- ・ 産休、育休等、休職期間は除いて計算してください。
- ・ 手術看護の経験年数は 4 月 1 日時点で算出してください。途中入職や退職、異動等があった場合、各看護職員の 4 月 1 日時点の手術看護の経験年数に基づき数値を見直してください。

巻末資料「看護要員の人数に関するデータ入力チェック表」では、「手術看護の経験年数別の看護職員」に関するチェック表をご用意しています。

## 周術期看護の状況

### 6. 勤務形態別の手術室看護職員配置数

【2024 年度変更あり】

入力項目	<input type="checkbox"/> 交代制勤務（勤務時間が規定されている交代制） <input type="checkbox"/> 当直制（施設内で待機し、必要時に勤務につく） <input type="checkbox"/> オンコール体制（緊急時対応可能な範囲に待機し、呼び出しに応じて勤務につく）
	1 日あたりの日勤（午前 10 時時点）に勤務する看護職員数（実人数） 予定手術稼働日（ ）人 それ以外の日（ ）人 1 日あたりの夜勤（午前 2 時時点）に勤務する看護職員数（実人数） 予定手術稼働日（ ）人 それ以外の日（ ）人 1 日あたりの当直勤務を担当する看護職員数（実人数） 予定手術稼働日（ ）人 それ以外の日（ ）人 1 日あたりのオンコール対応する看護職員数（実人数） 予定手術稼働日（ ）人 それ以外の日（ ）人
	<b>【手術室所属の特定行為研修を修了した看護職員数（管理職含む）】</b> <b>術後疼痛管理等に係る特定行為研修修了者*（ ）人</b>
算定式	-

入力単位	病院
対象期間	対象月の 1 ヶ月間（自動コピー）
入力の範囲	整数、【1 日あたり勤務・担当・対応看護職員数】0～999 人
エラーチェック項目	—
昨年度参考値	

#### 説明

手術室の勤務形態についてお聞きしています。また、勤務形態別に、1 日あたりの日勤・夜勤配置看護職員数（実人数）をお聞きしています。

- 手術室で適用している勤務形態について、すべてチェックしてください。  
例)交代制勤務 +オンコール体制

#### 【看護職員配置数の数え方】

- 本項目では、管理職（専ら手術室の看護管理に従事する者）、看護補助者、介護職員は計上しないでください。
- 予定手術稼働日とは、病院が定めている手術室の予定手術稼働日（例：月～金の週 5 日、月・水・土の週 3 日）です。
- 夜勤配置看護職員数が曜日によって異なる場合は、もっとも一般的な人数を入力してください（土日祝日の場合も同様に考えてください）。

#### 日勤の看護職員配置数

- 午前 10 時時点に手術室に勤務した看護職員数の、1 日あたりの実人数を入力してください。

## 夜勤の看護職員配置数

- ・ 午前 2 時時点で手術室に勤務した看護職員数の、1 日あたりの実人数を入力してください。「患者像・看護職の労働状況 17. 勤務形態別の夜勤配置看護職員数」と、「午前 2 時時点」という定義を揃えています。

### 例)三交代制勤務の病棟の、予定手術稼働日の夜勤看護配置職員数

準夜勤 16:00～0:15 の予定手術稼働日の勤務者が 4 人←(午前 2 時時点の勤務がありません)

深夜勤 0:00～8:15 の予定手術稼働日の勤務者が 3 人←(午前 2 時時点の勤務がありません)

この場合は、予定手術稼働日の夜勤看護配置職員数は「3」人になります。

## 【手術室所属の特定行為研修を修了した看護職員数(管理職含む)の数え方】

- ・ 手術室に所属する、周術期に係る特定行為研修修了者の実人数を入力してください。
- ・ 管理職(専ら看護管理に従事する者)も含みます。
- ・ 正規雇用職員だけでなく、非常勤職員も含みます。
- ・ 休職中の看護職員も含みます。
- ・ 術後疼痛管理等に係る特定行為研修修了者とは、術後疼痛管理チーム加算の施設基準である「術後疼痛管理に係る所定の研修を修了した専任の看護師」に準拠します。所定の研修は以下のいずれかです。
  - ・「術後疼痛管理関連」
  - ・領域別パッケージ研修「外科術後病棟管理領域」「術中麻酔管理領域」「外科系基本領域」

## 周術期看護の状況

### 7. 術前看護

【2024 年度変更あり】

入力項目	<p>&lt;術前外来&gt;</p> <p>看護職員による術前外来の実施 <span style="float: right;">○あり ○なし</span></p> <p>(「あり」の場合)</p> <p>術前外来の基準・手順の有無 <span style="float: right;">○あり ○なし</span></p> <p>稼働日 ( ) 日/週</p> <p>実施した看護職員の種別</p> <p><input type="checkbox"/>手術室看護師 <input type="checkbox"/>外来看護師 <input type="checkbox"/>手術看護認定看護師 <input type="checkbox"/>術後疼痛管理等に係る特定行為研修修了者*</p> <p>1ヶ月間の実施した患者数 ( ) 人 / 月</p> <p>&lt;術前訪問&gt;</p> <p>看護職員による術前訪問の実施 <span style="float: right;">○あり ○なし</span></p> <p>(「あり」の場合)</p> <p>術前訪問の基準・手順の有無 <span style="float: right;">○あり ○なし</span></p> <p>実施した看護職員の種別</p> <p><input type="checkbox"/>手術室看護師 <input type="checkbox"/>手術看護認定看護師 <input type="checkbox"/>術後疼痛管理等に係る特定行為研修修了者*</p> <p>1ヶ月間に実施した患者数 ( ) 人 / 月</p>
算定式	<p>術前外来の実施率 = <math>A \div B \times 100</math></p> <p>A : 1ヶ月間の術前外来を実施した患者数</p> <p>B : 1ヶ月の手術件数 (周術期看護の状況 2)</p> <p>術前訪問の実施率 = <math>C \div B \times 100</math></p> <p>C : 1ヶ月間の術前訪問件数</p> <p>B : 1ヶ月の手術件数 (周術期看護の状況 2)</p>

入力単位	病院
対象期間	対象月の1ヶ月間 (自動コピー※術前外来を実施した患者数・術前訪問を実施した患者数以外)
入力の範囲	整数、【稼働日】1~7日、【患者数】0~9,999人、【術前外来・術前訪問の実施率】0.0~100.0%
エラーチェック項目	—
昨年度参考値	

説明

看護職員による術前外来および術前訪問の実施状況についてお聞きしています。

<術前外来>

### 【看護職員による術前外来の実施】

- ・ 看護職員による術前外来とは、患者が手術を受けるための身体的・精神的準備を整えられるよう、一定の時間と場を確保し、外来で手術を受けることが決定したときからの支援等を看護職員が行うことを指します。（「手術医療の実践ガイドライン（改訂第三版）」を参考に作成）  
ただし、一般外来看護の一環として実施するものは含みません。
- ・ 看護職員による術前外来の実施は、外来・病棟・手術室等に所属する看護職員や専門・認定看護師等、看護職員が実施している場合にチェックしてください。

### 【術前外来の基準・手順の有無】

- ・ 術前外来の基準・手順とは、施設の実情に応じて、対象となる患者、外来の実施担当者、場所、内容、記録方法、回数、必要時に他診療科・部門と連携する方法等について定めており、必要時にすぐ使用できるよう整備されている場合に、チェックしてください。

### 【実施した看護職員の種別】

- ・ 術前外来を主に実施している看護職員の種別にチェックしてください。
- ・ 術後疼痛管理等に係る特定行為研修修了者とは、術後疼痛管理チーム加算の施設基準である「術後疼痛管理に係る所定の研修を修了した専任の看護師」に準拠します。所定の研修は以下のいずれかです。
  - ・「術後疼痛管理関連」
  - ・領域別パッケージ研修「外科術後病棟管理領域」「術中麻酔管理領域」「外科系基本領域」

### 【1ヶ月間の実施した患者数】

- ・ 当月に手術を受けた患者のうち、1ヶ月間に看護師が術前外来を実施した患者数を入力してください。
- ・ 1人につき、1ヶ月間で2回以上実施した場合も「1」人を数えてください。

## <術前訪問>

### 【手術室の看護職員等による術前訪問の実施】

- ・ 看護職員による術前訪問とは、患者が手術を受けるための身体的・精神的に準備が整っていることを確認するとともに、手術室内で提供する看護についての説明と同意を得るために、一定の時間を確保し、入院してからの患者への介入等を看護職員が行うことを指します。（「手術医療の実践ガイドライン（改訂第三版）」を参考に作成）
- ・ 手術室の看護職員等による術前訪問の実施は、手術室に所属する看護職員（病棟・外来等との兼務者含む）や周術期に係る専門性の高い看護職（専門・認定看護師等）が実施している場合にチェックしてください。

### 【術前訪問の基準・手順の有無】

- ・ 術前訪問の基準・手順とは、施設の実情に応じて、対象となる患者、実施者、時期（タイミング）、記録方法、訪問が実施できなかった場合の対処方法等について定めており、必要時にすぐ使用できるよう整備されている場合に、チェックしてください。

### 【実施した看護職員の種別】

- ・ 術前外来を主に実施している看護職員の種別にチェックしてください。
- ・ 術後疼痛管理等に係る特定行為研修修了者とは、術後疼痛管理チーム加算の施設基準である「術後疼痛管理に係る所定の研修を修了した専任の看護師」に準拠します。所定の研修は以下のいずれかです。
  - ・「術後疼痛管理関連」
  - ・領域別パッケージ研修「外科術後病棟管理領域」「術中麻酔管理領域」「外科系基本領域」

### 【1ヶ月間に実施した患者数】

- ・ 1ヶ月間の術前訪問を実施した患者数を入力してください。
- ・ 1人につき、1ヶ月間で2回以上実施した場合も「1」人を数えてください。

## 周術期看護の状況

### 8. 皮膚・神経障害予防

【2024年度変更あり】

入力項目	<p>&lt;皮膚障害予防&gt;</p> <p>皮膚障害予防に関する基準・手順の有無           ○あり   ○なし</p> <p>1ヶ月間の手術のうち、褥瘡ハイリスク患者数   (    )人</p> <p>1ヶ月間の術前に皮膚脆弱性を評価し、褥瘡予防ケアを実施した患者数 (    )人</p> <p>1ヶ月間の術中に褥瘡が発生した患者数           (    )人</p> <p>&lt;神経障害予防&gt;</p> <p>神経障害予防に関する基準・手順の有無           ○あり   ○なし</p> <p>1ヶ月間の退室時に確認できた神経障害が発生した患者数   (    )人</p>
算定式	<p>手術下における褥瘡ハイリスク患者割合=A÷B×100</p> <p>A: 1ヶ月間の手術のうち、褥瘡ハイリスク患者数</p> <p>B: 1ヶ月の手術件数(周術期看護の状況2)</p> <p>術前の皮膚脆弱性の評価、および褥瘡予防ケアの実施率=C÷B×100</p> <p>C: 術前に皮膚脆弱性を評価し、褥瘡予防ケアを実施した患者数</p> <p>B: 1ヶ月の手術件数(周術期看護の状況2)</p> <p>手術下での褥瘡発生率=D÷B×100</p> <p>D: 1ヶ月間の術中に褥瘡が発生した患者数</p> <p>B: 1ヶ月の手術件数(周術期看護の状況2)</p> <p>手術下での神経障害発生率=E÷B×100</p> <p>E: 1ヶ月間の退室時に確認できた神経障害が発生した患者数</p> <p>B: 1ヶ月の手術件数(周術期看護の状況2)</p>

入力単位	病院
対象期間	対象月の1ヶ月間 <自動コピー※皮膚障害予防、および神経障害予防に関する基準・手順の有無のみ>
入力の範囲	整数、【患者数】0~999人、【褥瘡・神経障害発生率】0.0~100.0%
エラーチェック項目	—
昨年度参考値	

説明

手術中の皮膚障害および神経障害予防ケアの実施状況についてお聞きしています。

## <皮膚障害予防>

### 【皮膚障害予防に関する基準・手順の有無】

- 手術室において、褥瘡発生リスクや体位に応じた褥瘡予防対策等、皮膚障害予防に係る基準や手順が明記された手順書・マニュアルが、必要時にすぐ使用できるよう整備されている場合に、チェックしてください。

### 【1ヶ月間の手術のうち、褥瘡ハイリスク患者数】

- 褥瘡ハイリスク患者とは、褥瘡ハイリスク患者ケア加算の対象患者要件に該当する患者数を指します。施設基準を満たしていない等の理由により褥瘡ハイリスク患者ケア加算を算定していなくても、対象患者要件に該当していれば計上してください。

参考) 褥瘡ハイリスク患者ケア加算の対象患者要件

褥瘡予防・管理が難しく重点的な褥瘡ケアが必要な患者とは、ベッド上安静であって、次に掲げるものをいいます。

ア ショック状態のもの	カ 強度の下痢が続く状態であるもの
イ 重度の末梢循環不全のもの	キ 極度の皮膚の脆弱(低出生体重児、GVHD、黄疸等)であるもの
ウ 麻薬等の鎮痛・鎮静剤の持続的な使用が必要であるもの	ク 皮膚に密着させる医療関連機器の長期かつ持続的な使用が必要であるもの
エ 6時間以上の全身麻酔下による手術を受けたもの	ケ 褥瘡に関する危険因子(病的骨突出、皮膚湿潤、浮腫等)があつて既に褥瘡を有するもの
オ 特殊体位による手術を受けたもの	

### 【1ヶ月間に術前の皮膚脆弱性の評価をもとに、褥瘡予防ケアを実施した患者数】

- 術前の皮膚脆弱性の評価をもとに、褥瘡予防ケアを実施した患者とは、術前から患者に褥瘡発生リスクアセスメントを行い、その評価をもとに患者の状態に合わせた除圧用具や体位固定器具の準備、体圧分散マットの選択等の褥瘡予防ケアを実施した患者を計上してください。

### 【1ヶ月間に術中に褥瘡が発生した患者数】

- 退室時に発見された MDRPU・DTI・褥瘡を計上してください。テープや消毒薬のあとも含みます。
- 褥瘡の場合、手術前にはなく、手術中に持続する発赤以上(DESIGN-R°分類に基づく)の褥瘡を生じた患者を計上してください。
- 1人につき、複数部位に新たに発赤を生じた場合でも、「1」人として数えてください。

## <神経障害予防>

### 【神経障害予防に関する基準・手順の有無】

- 手術室において、神経障害の観察ポイントや危険因子、術式に応じた体位の選択等、神経障害予防に係る基準や手順が明記された手順書・マニュアルが、必要時にすぐ使用できるよう整備されている場合に、チェックしてください。

### 【1ヶ月間の退室時に確認できた神経障害が発生した患者数】

- 退室時に発見された痺れ、感覚異常で、手術前にはなかった神経障害が発生した患者数を入力してください。
- 1人につき、複数部位に発生した場合も「1」人を数えてください。

## 周術期看護の状況

### 9. 体温管理

【2024 年度変更あり】

入力項目	体温管理に関する基準・手順の有無      ○あり      ○なし 1 ヶ月間の退室時に確認できたシバリングの件数      (      ) 件
算定式	術後のシバリング発生率 = $A \div B \times 100$ A: 1 ヶ月間の退室時に確認できたシバリングの件数 B: 1 ヶ月の手術件数 (周術期看護の状況 2)

入力単位	病院
対象期間	対象月の 1 ヶ月間 (自動コピー※体温管理に関する基準・手順の有無のみ)
入力の範囲	整数、【シバリングの発生件数】0~999 件、【シバリング発生率】0.0~100.0%
エラーチェック項目	—
昨年度参考値	

説明

手術中の体温管理に係るケアの実施状況についてお聞きしています。

#### 【体温管理に関する基準・手順の有無】

- 手術室において、体温管理のための環境整備、体温管理方法等、体温管理に係る基準や手順が明記された手順書・マニュアルが、必要時にすぐ使用できるよう整備されている場合に、チェックしてください。

#### 【1 ヶ月間の退室時に確認できたシバリングの件数】

- 手術中や覚醒時にシバリングが発生した患者数を入力してください。
- 手術室または回復室(PACU、リカバリールーム含む)で発生したシバリングのみ計上してください。

## 周術期看護の状況

### 10. 手術室における患者・手術部位の誤認防止

【2024 年度変更あり】

入力項目	<b>【患者誤認防止】</b> 基準・手順の有無                      ○あり      ○なし 手術入室時の患者確認の実施                      ○あり      ○なし 昨年度 1 年間の患者誤認件数      (                      ) 件/年
	<b>【手術部位誤認防止】</b> 基準・手順の有無                      ○あり      ○なし 手術部位のマーキングの実施                      ○あり      ○なし 昨年度 1 年間の手術部位誤認件数      (                      ) 件/年
	<b>【患者・手術部位誤認防止】</b> 手術開始前のタイムアウトの実施                      ○あり      ○なし
算定式	-

入力単位	病院
対象期間	対象月の 1 ヶ月間 〈自動コピー〉
入力の範囲	整数、【件数】0～999 件
エラーチェック項目	—
昨年度参考値	

#### 説明

手術室における患者及び手術部位の誤認防止に係る取組みの実施状況についてお聞きしています。

#### 【患者誤認防止に関する基準・手順の有無】

- 手術室において、患者誤認防止に係る基準や手順が明記された手順書・マニュアルが、必要時にすぐ使用できるよう整備されている場合に、チェックしてください。

#### 【手術入室時の患者確認の実施】

- 手術入室時の患者確認とは、患者誤認防止を目的に、手術室入室時に患者本人(必要時は家族)に確認することを指します。(「手術医療の実践ガイドライン(改訂第三版)」を参考に作成)

#### 【昨年度 1 年間の患者誤認件数】

- 件数は、昨年 1 年間の手術室での患者誤認に係るインシデントレポート件数を計上してください。
- インシデントレベルは問いません。
- 「発見者」「当事者」がどの職種かは問いません。

#### 【手術部位誤認防止に関する基準・手順の有無】

- 手術室において、手術部位誤認防止に係る基準や手順が明記された手順書・マニュアルが、必要時にすぐ使用できるよう整備されている場合に、チェックしてください。

#### 【手術部位のマーキングの実施】

- 手術部位のマーキングとは、手術部位誤認防止を目的に、手術部位にマーキングしていることを指します。

### 【昨年度 1 年間の手術部位誤認件数】

- ・ 件数は、昨年 1 年間の手術室での手術部位誤認に係るインシデントレポート件数を計上してください。
- ・ インシデントレベルは問いません。
- ・ 「発見者」「当事者」がどの職種かは問いません。

### 【手術開始前のタイムアウトの実施】

- ・ 手術開始前のタイムアウトの実施とは、手術開始前にタイムアウトを行い、患者誤認防止及び手術部位誤認防止を目的に、手術チーム内で患者確認や手術部位の最終確認をすることを指します。（「手術医療の実践ガイドライン(改訂第三版)」を参考に作成）

## 周術期看護の状況

### 11. 体内遺残防止

【2024 年度変更あり】

入力項目	器材カウントに関する基準・手順の有無	○あり	○なし
	昨年度 1 年間の鋼製器具紛失件数	( )	件/年
	ガーゼカウント不一致件数	( )	件/年
算定式	-		

入力単位	病院
対象期間	対象月の 1 ヶ月間 〈自動コピー〉 「昨年度 1 年間の構成器具紛失件数・ガーゼカウント不一致件数」は昨年度 1 年間 〈自動コピー〉
入力の範囲	整数、【件数】0～999 件
エラーチェック項目	—
昨年度参考値	

#### 説明

体内遺残防止に係る取組みの実施状況についてお聞きしています。

#### 【体内遺残防止に関する基準・手順の有無】

- 手術室において、器材(器械、ガーゼ等)のカウント方法や遺残の確認方法等、体内遺残防止に係る基準や手順が明記された手順書・マニュアルが、必要時にすぐ使用できるよう整備されている場合に、チェックしてください。

#### 【昨年度 1 年間の鋼製器具紛失件数・ガーゼカウント不一致件数】

- 件数は、昨年度 1 年間の手術室での鋼製器具紛失・ガーゼカウントの不一致に係るインシデントレポート件数を計上してください。
- インシデントレベルは問いません。
- 「発見者」「当事者」がどの職種かは問いません。

## 周術期看護の状況

# 12. WHO 手術安全チェックリストの使用

【2024 年度変更あり】

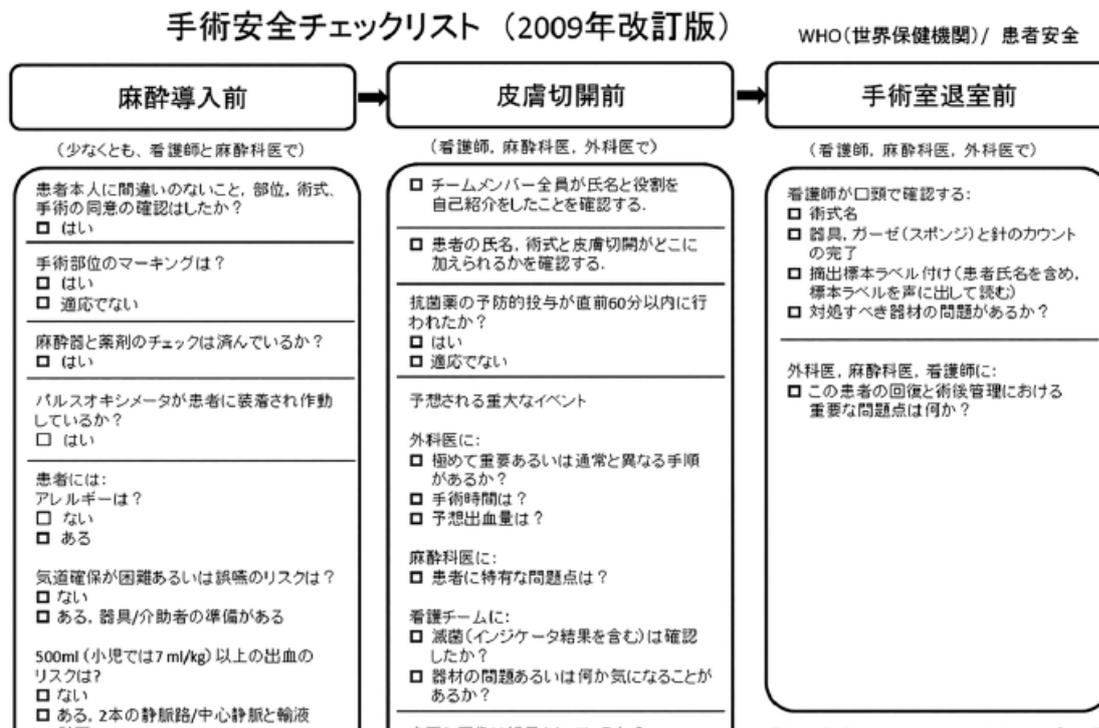
入力項目	WHO の手術安全チェックリスト使用の有無	○あり	○なし
算定式	-		

入力単位	病院
対象期間	対象月の1ヶ月間〈自動コピー〉
入力の範囲	—
エラーチェック項目	—
昨年度参考値	

### 説明

WHO の手術安全チェックリストの使用状況についてお聞きしています。

- WHO 手術安全チェックリストが、必要時にすぐ使用できるよう整備されている場合に、チェックしてください。



出典)WHO 安全な手術のためのガイドライン 2009、2015、日本麻酔科学会

このチェックリストには、すべてのものを含むことを意図していない。施設の実情に応じた追加・改変が推奨される。

## 周術期看護の状況

### 13. 術後看護

【2024 年度変更あり】

入力項目	看護職員による術後訪問の実施	○あり	○なし
	(「あり」の場合) 術後訪問の形態： ○看護師のみの個別訪問	○医療チームでのラウンド	
	術後訪問の基準・手順の有無	○あり	○なし
	1ヶ月間の術後訪問を実施した患者数	( )	人
算定式	術後訪問の実施率 = $A \div B \times 100$ A：1ヶ月間の術後訪問件数 B：1ヶ月の手術件数（周術期看護の状況2）		

入力単位	病院
対象期間	対象月の1ヶ月間（※自動コピー：1ヶ月間の術後訪問患者数以外）
入力の範囲	整数、【患者数】0～999件、【術後訪問の実施率】0.0～100.0%
エラーチェック項目	—
昨年度参考値	

説明

看護職員による術後訪問の実施状況についてお聞きしています。

#### 【術後訪問の実施】

- 看護職員による術後訪問とは、手術室内で提供した看護の妥当性について評価することを目的に、一定の時間を確保し、術後に患者に直接会って観察する等を看護職が行うことを指します。（「手術医療の実践ガイドライン（改訂第三版）」を参考に作成）
- 看護職員による術後訪問の実施は、手術室に所属する看護職員や周術期に係る専門性の高い看護職（専門・認定看護師等）が実施している場合にチェックしてください。

#### 【術後訪問の形態】

- 術後訪問の実施者が、概ね、手術室の看護職員が単独で訪問している場合は「看護師のみの個別訪問」、術後疼痛管理チーム等の多職種からなる医療チームで行っている場合は「医療チームでのラウンド」にチェックしてください。

#### 【術後訪問の基準・手順の有無】

- 術後訪問の基準・手順とは、施設の実情に応じて、対象となる患者、実施者、時期（タイミング）、記録方法、訪問が実施できなかった場合の対処方法等について定めており、必要時にすぐ使用できるよう整備されている場合に、チェックしてください。

#### 【1ヶ月間の術後訪問を実施した患者数】

- 1ヶ月間の術後訪問を実施した患者数を入力してください。
- 1人につき、1ヶ月間で2回以上実施した場合も「1」人を数えてください。

# 巻末資料

- 看護要員の人数に関するデータ入力チェック表

